

BCPOS[®] ver.2 ver.3

インストール マニュアル

BUSICOM 

Windows 32bit 対応

※インストールを行う前に必ずお読みください。 ……	2
再インストール・バージョンアップの場合 ……	3
① BCPOS のインストール (CD-ROM) ……	4
① BCPOS のインストール (ダウンロード) ……	5
※トラブル (BCPOS インストールが始まらない) ……	8
周辺機器構成の違いによる、設定の進み方 ……	15
② TSP143/USB カスタマディスプレイの設定 ……	16
② TSP143-RS232C カスタマディスプレイの設定 ……	20
③ TSP143 レシートプリンタ・ドロワの設定 ……	22
② TM-T88 編 /USB カスタマディスプレイの設定 ……	29
② TM-T 88RS232C カスタマディスプレイの設定 ……	33
③ TM-T88 レシートプリンタ・ドロワの設定 ……	35
※トラブル (周辺機器のエラーと表示される) ……	38
■ロックスターの設定 ■ ……	39
※トラブル (レジ画面がトレーニングモードになる) ……	40
■期限パスワードの更新 ■ ……	45

 ※ **インストールを行う前に必ずお読みください。**
必ずお読みください！

BCPOS Ver2.5は、WindowsXP WindowsVista/7(32bit)OSまでしか対応しておりません。
WindowsVista/7(64bit)Windows8の場合は、BCPOS Ver4.0をインストールしてください。

- ・インストールを行う前に、必ず全てのプログラムを終了させてください。
- ・再インストール・バージョンアップでインストールする場合、安全のため必ずデータのバックアップを取ってください。基本的にデータや設定はそのまま残りますが、バックアップを取らずにインストールした場合に、データに支障をきたしても弊社では一切責任を負えませんのでご了承ください。

■手順 1 (Windows7 の場合)

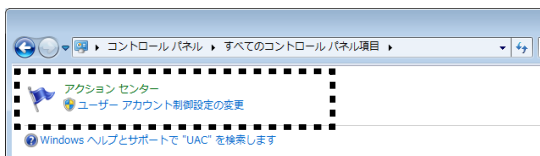
スタートメニューを開き(画面左下のウインドウズのマークを押す)、「コントロール パネル」を押します。

**■手順 2**

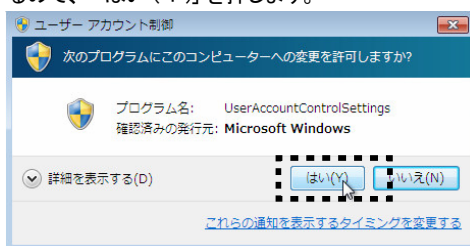
「コントロール パネル」のウインドウが表示されるので、右上の検索窓に「UAC」と入力します。

**■手順 3**

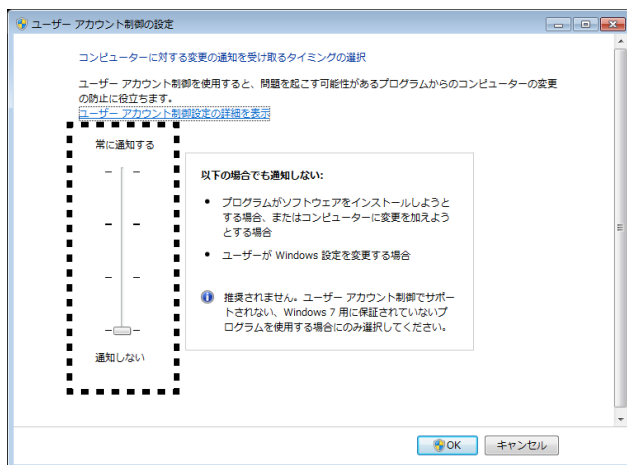
「ユーザーアカウント制御 (UAC) の有効化または無効化」と表示されている項目を押します。

**■手順 4**

「ユーザー アカウント制御」の警告ウインドウが表示されるので、「はい(Y)」を押します。

**■手順 5**

下図、左側のバーを一番下の「通知しない」まで動かし「OK」ボタンを押します。行ってから BCPOS のインストールを実行してください。



※「ユーザーアカウント制御 (UAC)」を有効にする場合は、BCPOS の設定がすべて完了してから有効にしてください。

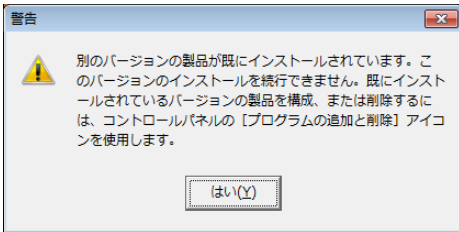


再インストール・バージョンアップの場合

BCPOS を再インストールする場合や新しいバージョンの BCPOS(4.0) をインストールする場合には、一度プログラムをアンインストールする必要があります。
 旧バージョンからバージョンアップを行なう場合は、顧客パスワード設定を再度行なう必要があります。

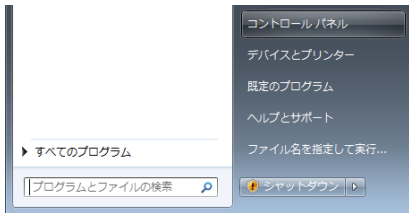
■手順 1

セットアップを実行した際に、初回インストールでは無いと判断した場合には、アンインストールの指示が表示されます。



■手順 2

[スタート] ボタンより [設定] → [コントロールパネル] を開きます。※ OS 環境により画面が異なる場合があります。



■手順 3

[コントロールパネル] より [プログラムのアンインストール] もしくは [プログラムの追加と削除] を開きます。



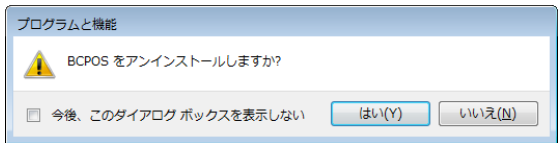
■手順 4

一覧より [BCPOS] アイコンを押します。



■手順 5

アンインストールの確認が表示されますので、[はい] を選択してください。



一覧より [BCPOS] のアイコンが無くなっていれば、アンインストールは完了です。

■手順 7

続けて、[セットアップの実行] P.6 を開始してください。



① BCPOS のインストール (CD-ROM)

BCPOS Ver2.5は、WindowsXP WindowsVista/7(32bit)OSまでしか対応しておりません。
WindowsVista/7(64bit)Windows8の場合は、BCPOS Ver4.0をインストールしてください。

1-1 新規 BCPOS のインストール (CD-ROM 編)

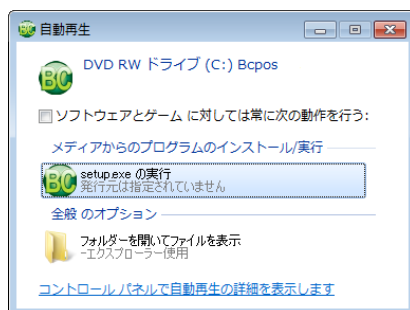
新規で BCPOS を CD-ROM からインストールする場合のインストール方法についてご説明します。

※各種インストールが終了するまで、周辺機器をパソコン (POS) に接続しないでください。
〔周辺機器の接続方法は、P-15「周辺機器構成の違いによる、設定の進め方」を参照してください〕

■ CD-ROM からインストールする場合

■手順 1

BCPOS の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
自動再生画面が表示されましたら [setup.exe の実行] を
選択してください。



■手順 2

[セットアップ] (下図) が表示されたら [セットアップ] を押
します。



[セットアップの実行] P-6 へ ▶

※ CD-ROM をセットしても自動的にセットアップ画面が表示されない場合は
P.8 の「トラブルシューティング」へ

[セットアップ] が始まらない P-8 へ ▶

1-1 再インストール・バージョンアップの場合

BCPOS を再インストールする場合や新しいバージョンの BCPOS をインストールする場合には、ハード
ウェアの環境によって、インストール手順が異なります。お店に合った、インストールの手順をご案内
差し上げますので巻末のユーザーサポートまでご連絡ください。

また、インストールは約1時間程時間がかかりますので、時間に余裕がある時にバージョンアップをす
る事をお勧めします。

① BCPOS のインストール (ダウンロード)

BCPOS Ver2.5は、WindowsXP WindowsVista/7(32bit)OSまでしか対応しておりません。WindowsVista/7(64bit)Windows8の場合は、BCPOS Ver4.0をインストールしてください。

1-1 新規 BCPOS のインストール (ダウンロード編)

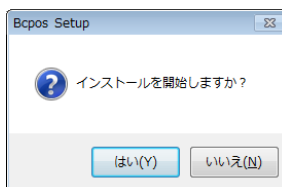
新規で BCPOS をダウンロードしてインストールする場合のインストール方法についてご説明します。

※各種インストールが終了するまで、周辺機器をパソコン (POS) に接続しないでください。
(周辺機器の接続方法は、P-15「周辺機器構成の違いによる、設定の進め方」を参照してください)

■ダウンロード (Web) からインストールする場合

■手順 1

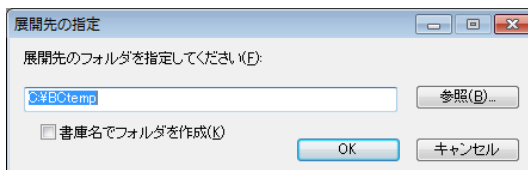
ショップページより、インストールプログラムをデスクトップ等にダウンロードします。ダウンロードした [INSTALL(年月).EXE] を 2 回押します。下図が表示されますので [はい] を押します。



■手順 2

インストールに必要なファイルを展開する場所の指定画面が表示されます。特別な理由がない限り、そのまま [OK] を押してください。

※ここで他のフォルダを指定した場合には、自動的にセットアップが起動しませんので、P.4 の ※トラブルシューティングを実行してセットアップを起動する必要があります。



■手順 3

[展開先フォルダ作成画面] が表示されます。[OK] を押してください。



■手順 4

ファイルの展開が完了すると [BCPOS セットアップ] (右図) が表示されます。

※ OS の環境により、[SETUP.EXE] の実行を許可するかキャンセルするかの確認画面が表示されますが、許可してすすめてください。



1-2 BCPOS セットアップの実行

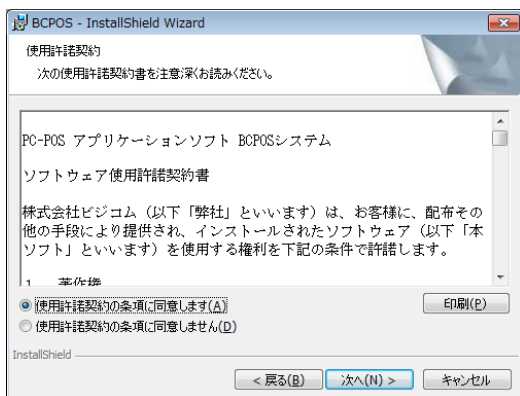
■手順 1

[セットアップ] (下図) が表示されたら [セットアップ] を押します。



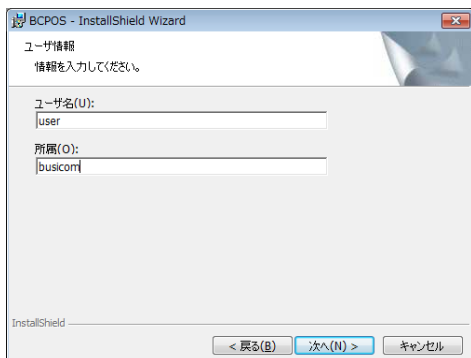
■手順 2

[使用許諾契約] が表示されます。
[使用許諾契約の条項に同意します (A)] にチェックを入れて、[次へ] を押します。



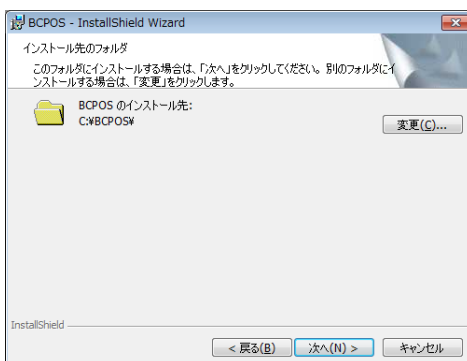
■手順 3

[ユーザーの情報] が表示されたら名前と会社名を入力し、[次へ] を押します。
会社名は省略可能です。



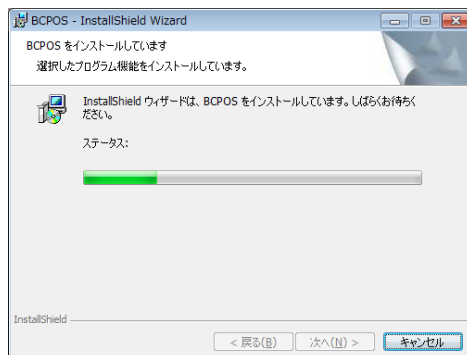
■手順 4

[インストール先の選択] が表示されますので [次へ] を押します。



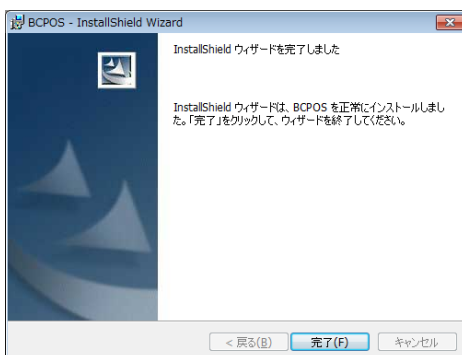
■手順 5

インストールが開始されます。暫くお待ちください。



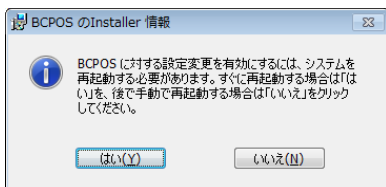
■手順 6

[セットアップ完了] が表示されます。
[完了] を押します。



■手順 7

コンピュータを再起動します画面の「はい」を押します。
※ CD-ROM の場合は、CD を抜かずに再起動してください。

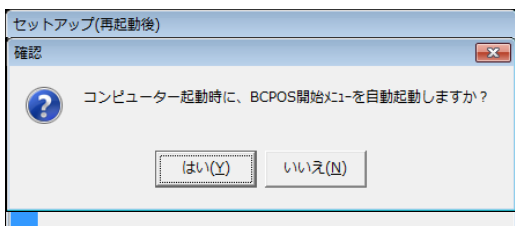


手順 8 が始まらない場合は P-8 へ

※ 下記手順8の「確認」、BCPOS のセットアップが自動で始まらない場合は「トラブルシューティング」次項へ

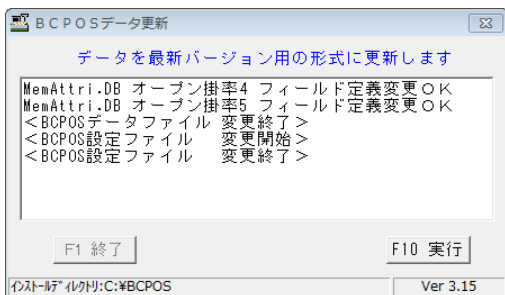
■手順 8

手順 7 においてコンピュータが再起動から立ち上がると同時に下図「確認」ダイアログが表示されます。
「はい」を選択するとコンピュータの起動後、自動的に BCPOS の開始メニューが起動する設定になります。
自動的に BCPOS の開始メニューを表示させたい場合は「はい」、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。



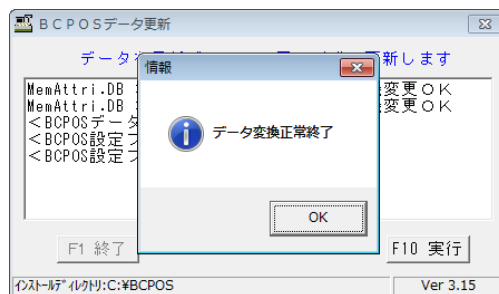
■手順 9

[BCPOS データ更新] が表示され、データが更新されます。
[情報] ダイアログが表示され、データ変換が正常に行われたら [OK] を押します。



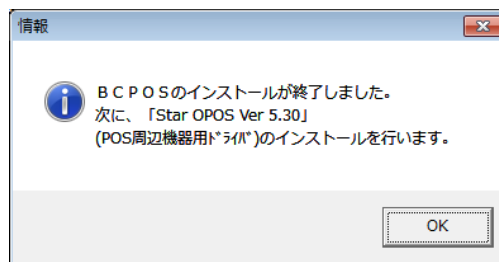
■手順 10

[情報] ダイアログが表示され、インストールが終了したら [OK] を押します。



以上で BCPOS のインストール及び自動起動設定は完了です。

続いて周辺機器の設定を行います。
下の画面が表示されます。[OK] を押してください。



P-9 の「周辺機器のセットアッププログラムのインストール」を実行してください。

P-9 周辺機器のセットアップ...へ

※ トラブルシューティング (BCPOS インストールが始まらない)

《※ 1》 [BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合 (自動的に BCPOS のセットアップが始まらない場合)

CD-ROM からインストールする場合

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、下記手順でインストールを開始します。

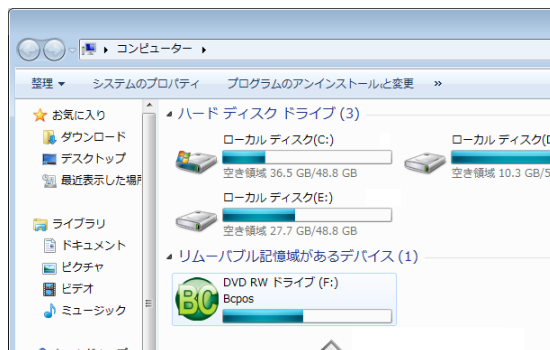
■手順 1

マイコンピュータを開きます。



■手順 2

CD/DVD ドライブを 2 回押します。



■手順 3 (CD-ROM & WEB 共通)
[SETUP] フォルダを開きます。

■手順 4 (CD-ROM & WEB 共通)
[Setup.exe] ファイルを開きます。
※同名ファイルがありますが、BC アイコンの
ファイルを実行してください。

■手順 5 (CD-ROM & WEB 共通)
[BCPOS セットアップ] ダイアログ (左図) が
表示されたら [セットアップ] ボタンを押します。

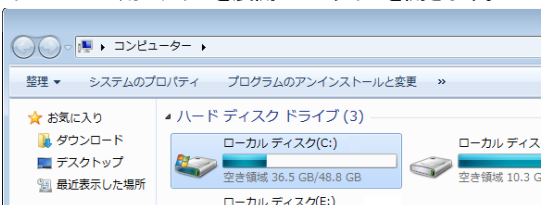
ダウンロード (Web) からインストールする場合

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、下記手順でインストールを開始します。

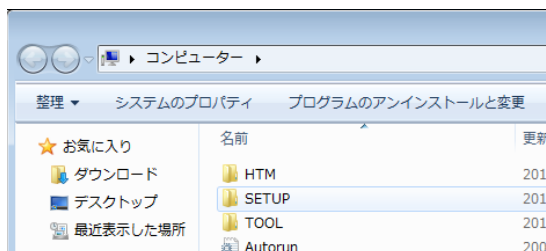
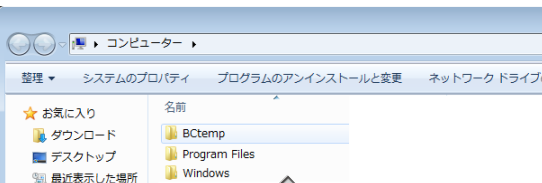
■手順 1

マイコンピュータを開きます。

インストール用ファイルを展開したドライブを開きます。



[BCtemp] フォルダを開きます。



1-3 周辺機器のセットアッププログラム①のインストール

周辺機器のセットアッププログラム①をインストールします。

※注意※ 各種インストールが終了するまで、周辺機器をパソコン (POS) に接続しないでください。
(周辺機器の接続方法は、P-15「周辺機器構成の違いによる、設定の進め方」を参照してください)

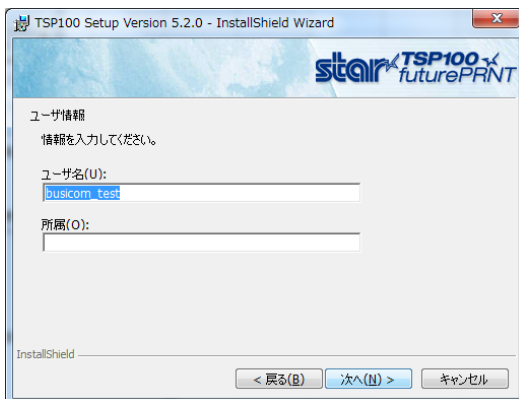
■手順 1

[Set up ウィザード] が開きますので [次へ] を押します。



■手順 2

[ユーザー情報] の入力画面になりますので、ユーザー情報を入力して [次へ] を押します。(ユーザー名は必須)



■手順 3

セットアップタイプ画面が開きます。

[標準] にチェックを入れて [次へ] を押します。



■手順 4

[プログラムをインストールする準備ができました]が開きますので[インストール]を押します。



■手順 5

[InstallShield] ウィザードを完了しましたと表示されますので[完了]を押して終了します。ここで一旦画面が閉じます。

続いて、カスタマディスプレイドライバのインストールが開始されます。

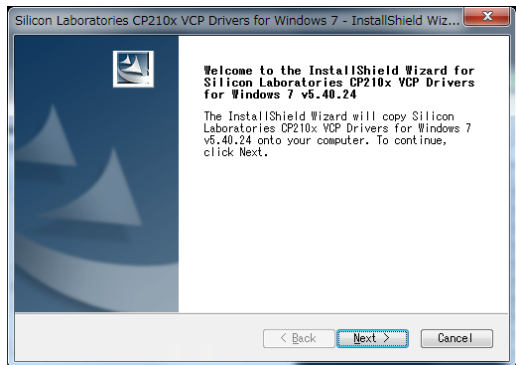


1-4 カスタマディスプレイのドライバインストール

カスタマディスプレイのドライバをインストールします。

■手順 1

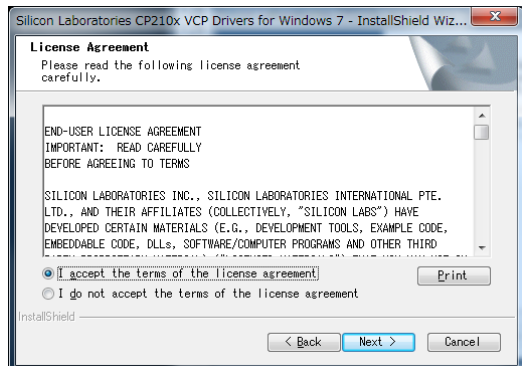
新たに「Silicon Laboratories CP210x…」が開きますので、[Next]を押します。



■手順 2

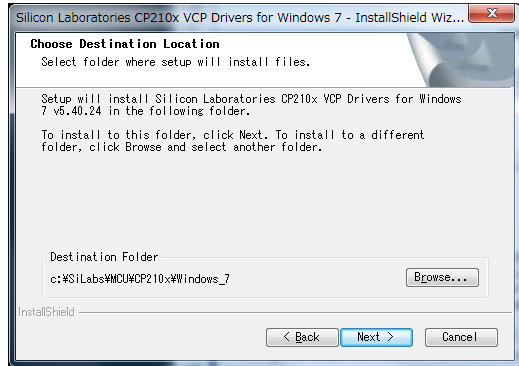
[使用許諾契約]が表示されます。

[I accept the.../ 許諾します]にチェックを入れて、[Next]を押します。



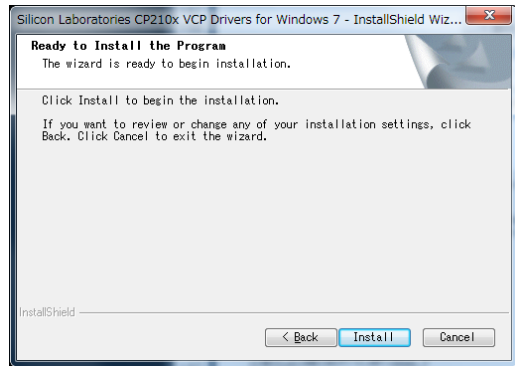
■手順 3

ファイルの保存先を尋ねられます。
続けて [Next] を押します。



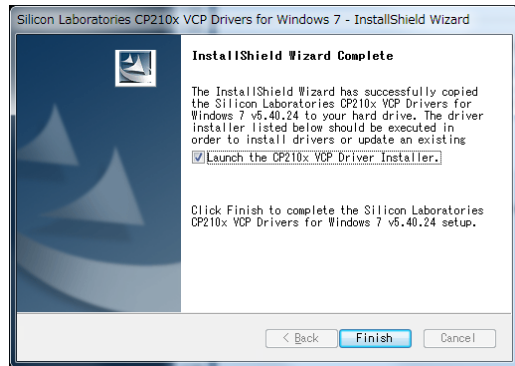
■手順 4

インストールウィザードを準備しますか。
[Install] を押します。



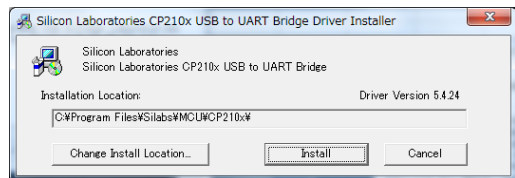
■手順 5

インストールウィザードのインストールが完了しました。
[Finish] を押します。



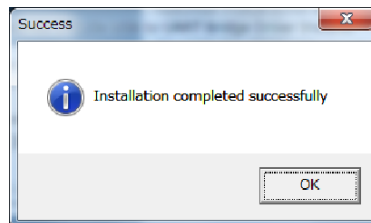
■手順 6

ドライバをインストールする、インストールウィザードが開始
されます。[Install] を押します。



■手順 7

インストールが完了しましたと画面に表示されますので
[Finish] を押して画面を閉じます。
プリンタとドローのドライバインストールが終了しました。

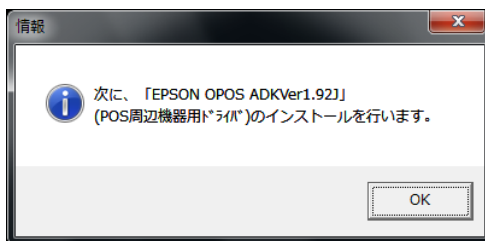


1-5 周辺機器のセットアッププログラム②のインストール

周辺機器のセットアッププログラム②をインストールします。

■手順 1

[情報] ダイアログが表示されるので、[OK] を押します。



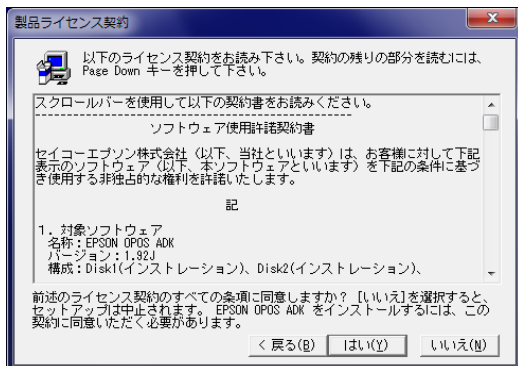
■手順 2

[ようこそ] ダイアログが表示されたら [次へ] を押します。



■手順 3

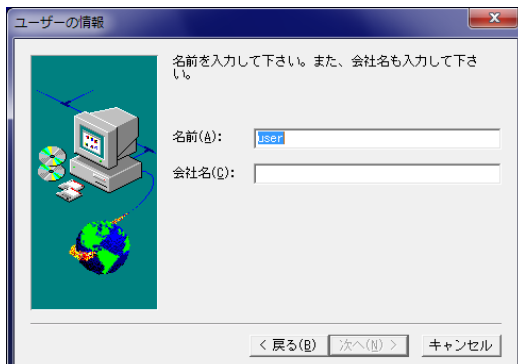
[製品ライセンス契約] が表示されたら、[はい] を押します。



■手順 4

[ユーザーの情報]が表示されます。名前と会社名を入力し、
[次へ] を押します。

※会社名は省略できませんので、何かしら入力してください。



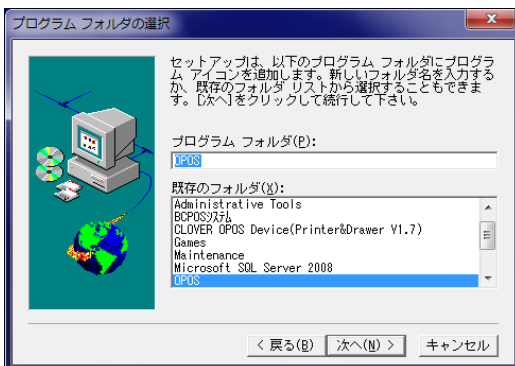
■手順 5

[インストール先の選択] が表示されます。
そのまま [次へ] を押します。



■手順 6

[プログラムフォルダの選択] が表示されます。
[次へ] を押します。



■手順 7

[インストールタイプの選択] が表示されます。
通常は [フルインストール] を選択し [次へ] を押します。



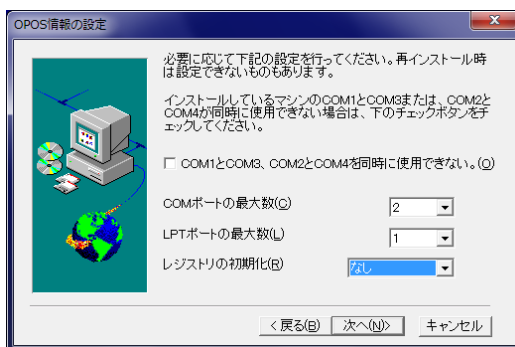
■手順 8

[インストールに関連する情報] が表示されます。
[次へ] を押します。



■手順 9

[OPOS 情報の設定] が表示されます。
[次へ] を押します。



■手順 10

[ファイルコピーの開始] が表示されます。
[次へ] を押します。



■手順 11

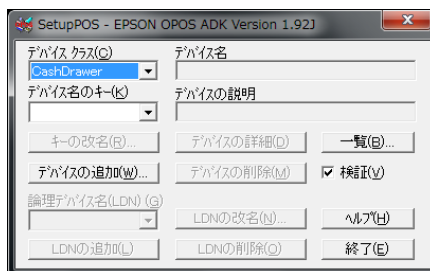
[セットアップ完了] が表示されたら[終了]を押します。
完了メッセージと共に『EPSON Setup POSを起動しますか?』
の確認メッセージが表示されますので、[ハイ]を押します。



■手順 12

[SetupPOS] が起動します。

※ [SetupPOS] を閉じないでください。



※ OLE POS について※

BCPOS は、OLE POS 技術協議会の仕様に準拠しています。

ジャーナル / レシートプリンタ、カスタムディスプレイ、キャッシュドロー等周辺機器のコントロールは OLE のドライバを介して制御しています。そのため、OLE POS のドライバをインストールする必要があります。

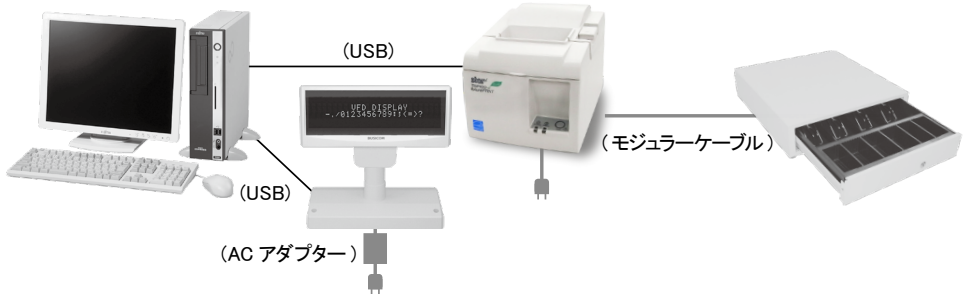
ご利用になる周辺機器を確認して、次項へお進みください。

周辺機器構成の違いによる、設定の進め方

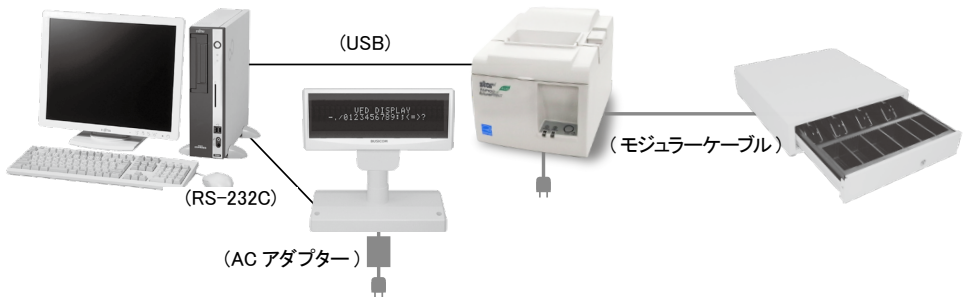
※ 下図は周辺機器の確認図になります。周辺機器を接続しないでください。

プリンター TSP143 シリーズ

■カスタマディスプレイが [USB 接続] の場合は P-16 へ

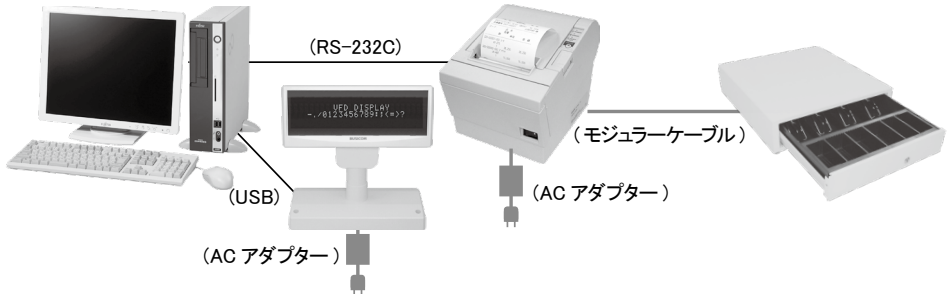


■カスタマディスプレイが [RS232C 接続] の場合は P-20 へ

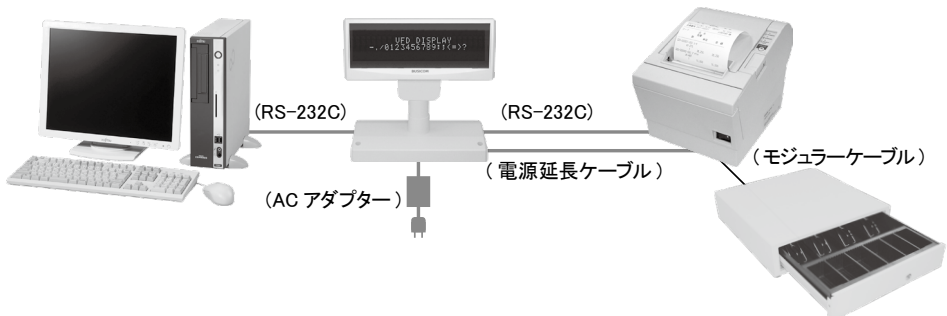


プリンター TM-T88 シリーズ

■カスタマディスプレイが [USB 接続] の場合は P-29 へ



■カスタマディスプレイが [RS232C 接続] の場合は P-33 へ

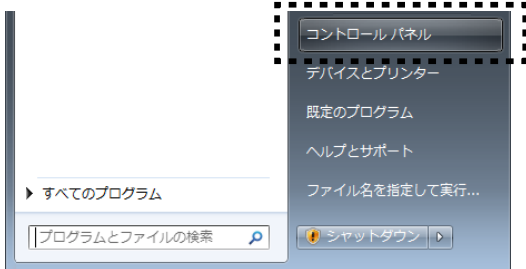


※ **トラブルシューティング (COM の番号がわからなくなった場合)**

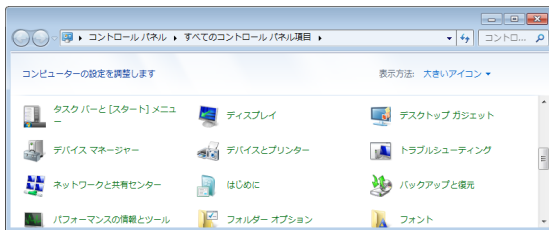
前項のポート確認で COM の番号がわからなくなった場合には、Windows のデバイスマネージャーから確認する事ができます。下記方法で、デバイスマネージャーから COM ポートの番号を確認してください。

■手順 1 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを押す)、「コントロール パネル」を押します。

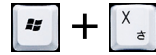


[コントロールパネル] 内の [デバイスマネージャー] を押します。

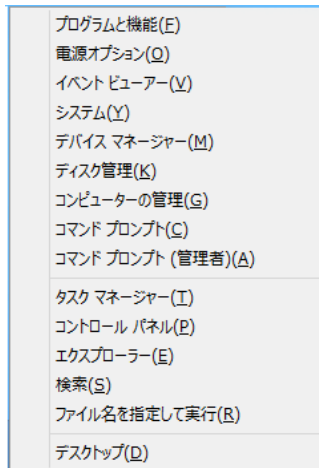


■手順 1 (Windows8 の場合)

スタートメニュー内のデスクトップ押してデスクトップを表示し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。下図が表示されます。



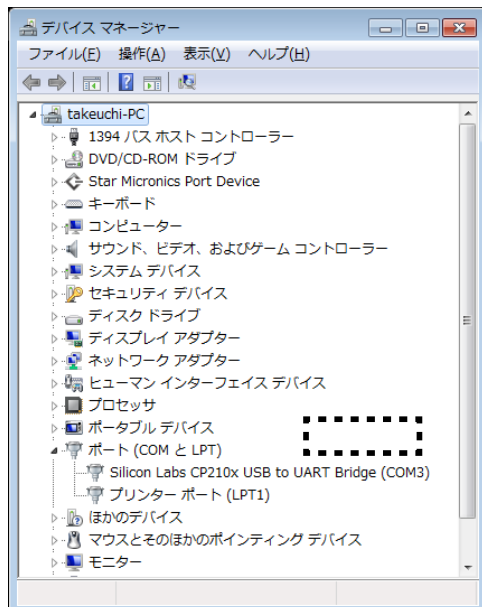
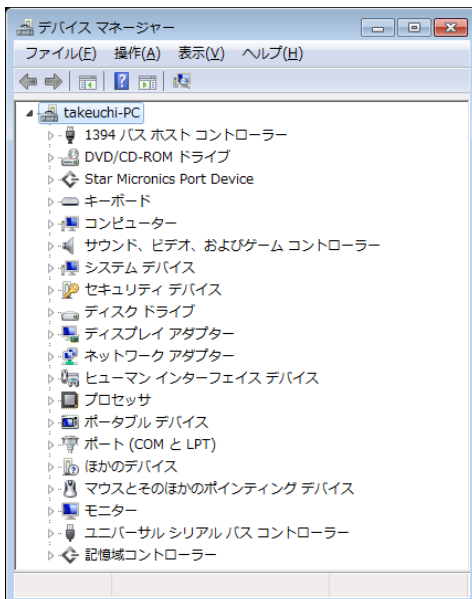
「デバイスマネージャー」を押します。



■手順 2

[デバイスマネージャー] が開きます。[ポート] を押して展開してください。

[Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●)] が、カスタマディスプレイの COM の番号になります。[COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。



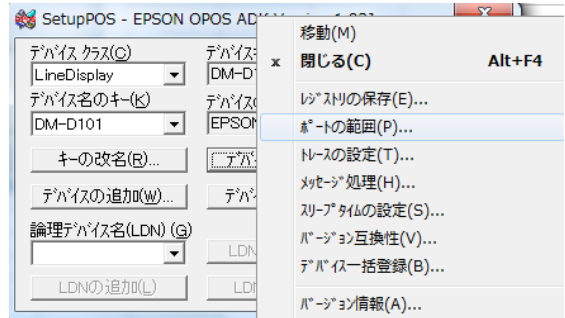
2-2 USB カスタマディスプレイの設定 (TSP143)

USB カスタマディスプレイ設定を行います。

※ [SetupPOS] が閉じている場合には、P-33 のトラブルシューティングを参照してください。

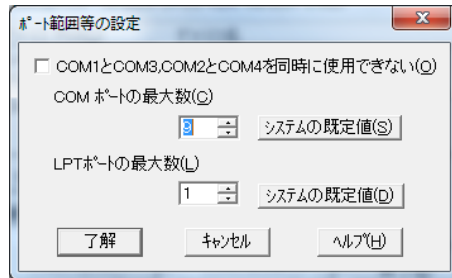
■手順 1

[SetupPOS] 画面の上部 [SetupPOS-EPSON OPOS ~] の上段枠辺りで [Ctrl] を押しながら画面を押して (右クリック) メニューを出し [ポートの範囲] を押します。



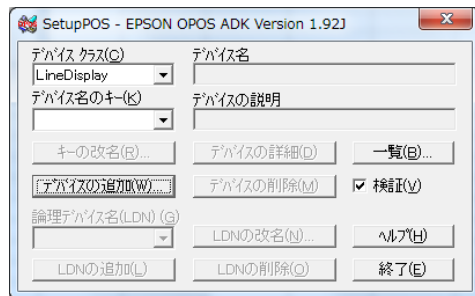
■手順 2

[COM ポートの最大数] に [9] を設定して [了解] を押します。



■手順 3

[デバイスクラス] に [LineDisplay] を設定して [デバイスの追加] を押します。



■手順 4

[追加するデバイスを~] に [DM-D101] を設定して [追加] を押します。





② カスタマディスプレイの設定 (TSP143-RS232C カスタマディスプレイ)

2-1 RS232C カスタマディスプレイの接続

次にカスタマディスプレイを接続します。

P-14 手順 12 で表示した右図 [SetupPOS] を画面を閉じないで、カスタマディスプレイをパソコンに接続します。



(RS232C)



2-2 RS232C カスタマディスプレイの設定

RS232C カスタマディスプレイ設定を行います。

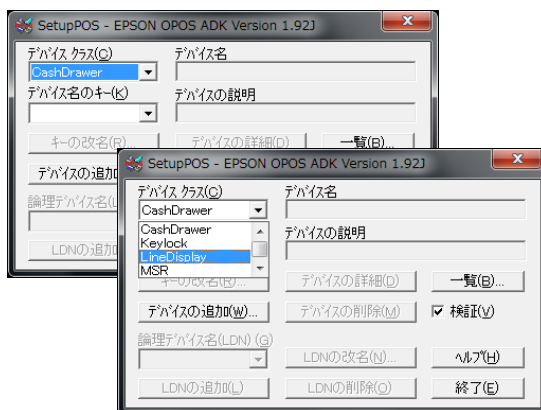
※ [SetupPOS] が閉じている場合には、P-21 のトラブルシューティングを参照してください。

■手順 1

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] が表示されます。

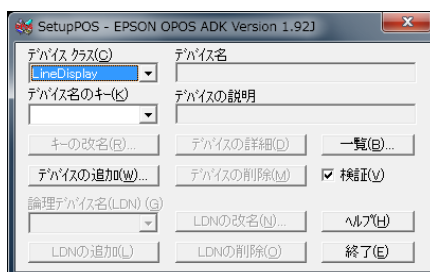
左上の [デバイスクラス] のプルダウンメニュー▼を押し、[Line Display] を選択します。

※右画面 [SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] が表示されない場合は、次項の (注意) の手順で、[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] を表示してください。



■手順 2

画面中程の [デバイスの追加] を押します。



■手順 3

[デバイスの追加] が表示されます。
 [追加するデバイスを選択] のプルダウンメニュー▼を押し、
 [DM-D101] を選択して [追加] を押します。



■手順 4

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] 画面に戻ります。

[デバイス名 : DM-D101]

[デバイスの説明 : EPSON DM-D101 LineDisplay]

となっていることを確認したら [終了] を押します。



注) パソコンにシリアルポート (COM) が無い為に変換ケーブルを使用する場合は、別途お問合せください。

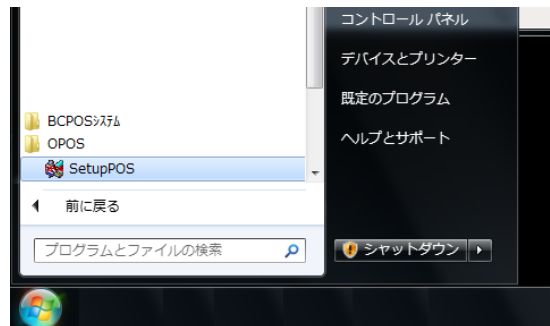
以上でカスタマディスプレイの設定手順1は終了です。



※ トラブルシューティング (SetupPOS の表示方法)

※ BCPOS のインストールした後、自動的に OPOS の設定画面になりますが、インストール後に設定し直したい場合、又は自動的に OPOS 画面にならなかった場合は Windows スタートボタンから [SetupPOS] を起動してください。

Windows 画面左下の [スタート] を押し、[プログラム] → [OPOS] → [SetupPOS] を選択し実行し、前項の手順1から、順番に設定を行ってください。





③ レシートプリンタ・ドロワの設定 (TSP143 編 - 共通)

3-1 レシートプリンタ・ドロワの接続 (TSP143 共通)

レシートプリンタとドロワの設定を行います。

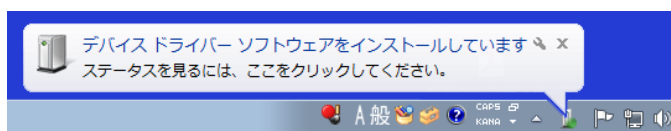
レシートプリンタをパソコン (POS) に接続して、ドロワをレシートプリンタに接続してください。

※注意※ レシートプリンタをパソコンに接続してください。ドロワをプリンタに接続してください。



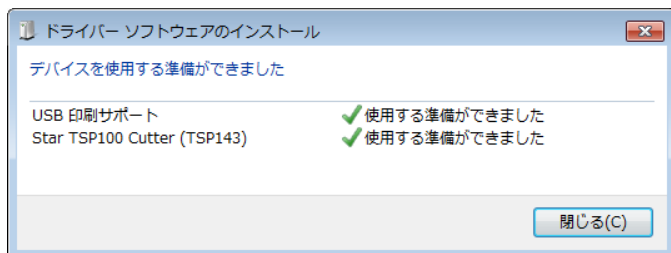
■手順 1

レシートプリンタをパソコンに接続すると、下図がパソコンの右下に表示されます。ステータスを表示する場合は、押してください。



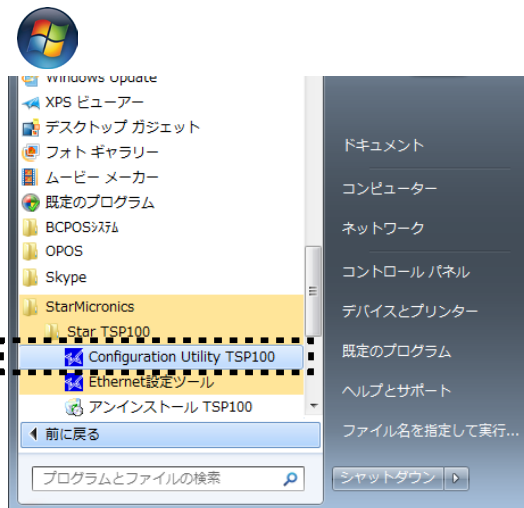
■手順 2

[ドライバーソフトウェアのインストール] が表示されます。しばらくすると [使用する準備ができました] と表示されるので、画面を閉じます。



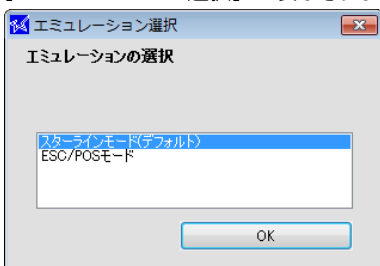
■手順 3 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを押)、 「すべてのプログラム」内の [Star Micronics] フォルダ [Star TSP100] フォルダ [Configuration Utility] を押します。



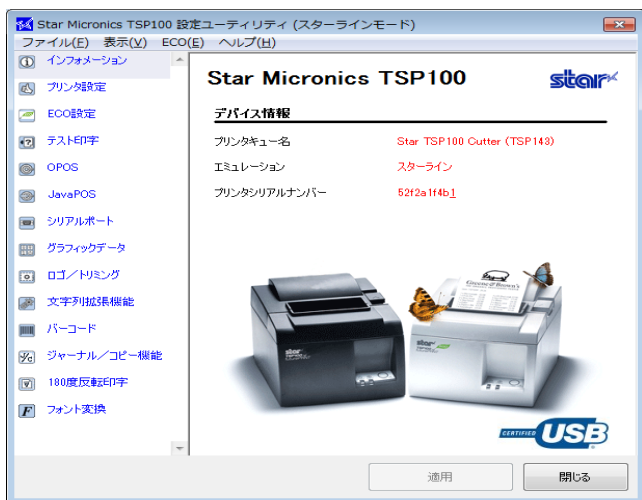
■手順 4

[エミュレーションの選択] が表示されます。 [OK] を押してください。



■手順 5

下図 [インフォメーション] が開きます。



3-2 レシートプリンタ・ドロワの設定 (TSP143 共通)

※レジロールの紙幅が 80mm と 58 mm の場合は [手順 6] [手順 8-4] が異なります。

■手順 6 (プリンタの設定)

左メニューより [プリンタ設定] を押します。

プリンタ設定 (スターラインモード) 画面に変わりますので、

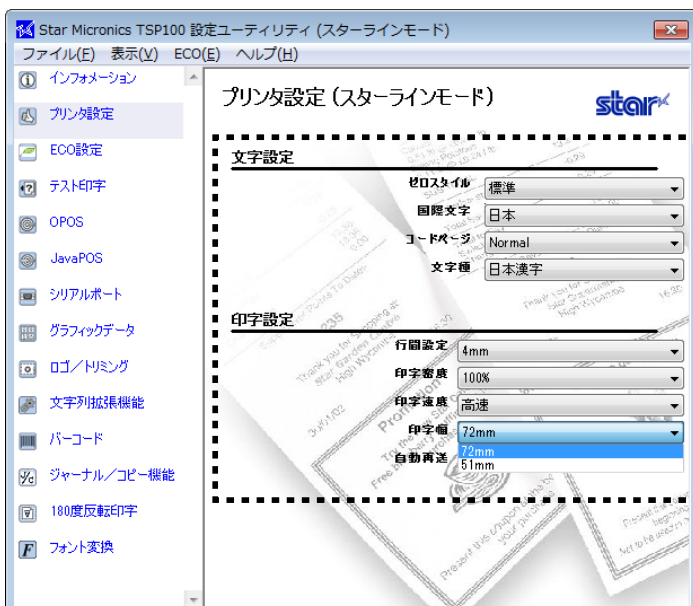
- ・文字設定の [国際文字] プルダウンメニューから [日本] を選択します。
[文字種] プルダウンメニューから [日本漢字] を選択します。

【レシートが 80 mm の場合】

- ・印字設定の [印字幅] プルダウンメニューから [72mm] を選択します。

【レシートが 58 mm の場合】

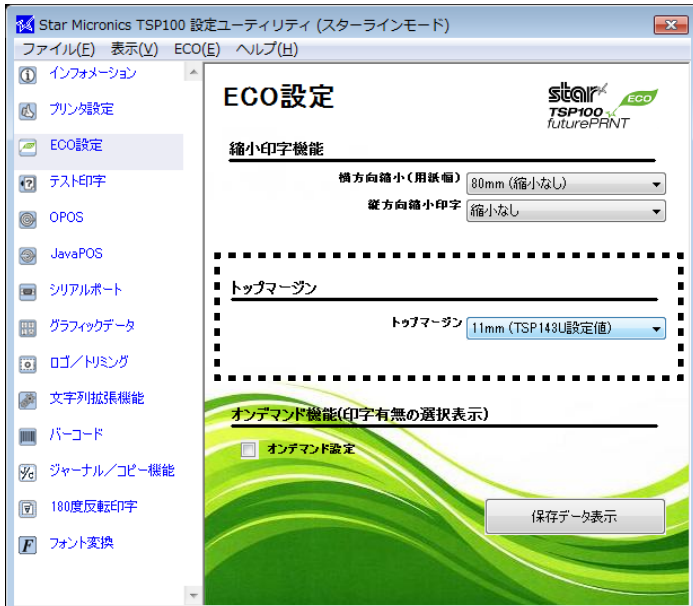
- ・印字設定の [印字幅] プルダウンメニューから [51mm] を選択します。



■手順 7 (レシートの上部余白設定)

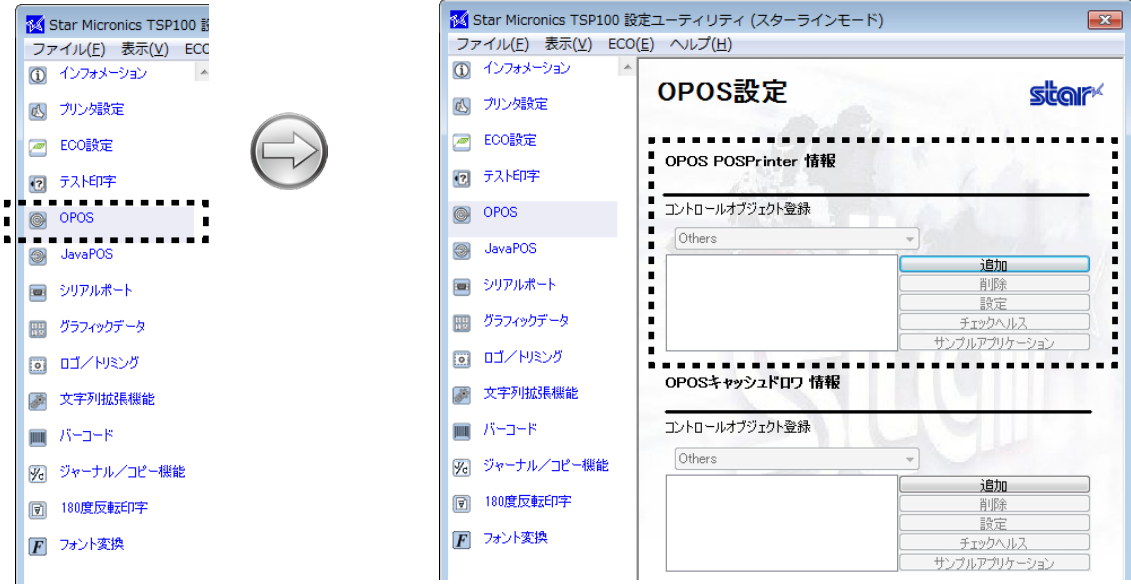
左メニューより [ECO 設定] を押します。

ECO 設定画面に変わりますので、[トップマージン] をプルダウンメニューから [11mm(TSP143U 設定値)] を選択します。

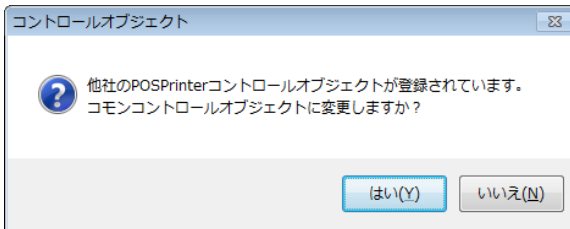


■手順 8-1 (OPOS 設定プリンタ)
左メニューより [OPOS] を押し
ます。

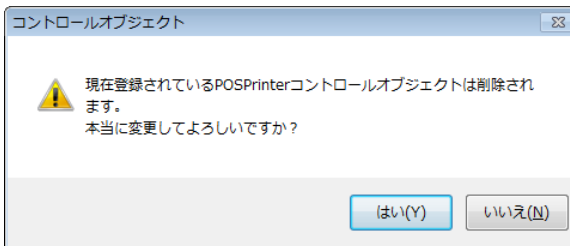
OPOS 設定画面に変わりますので、[OPOS POSPrinter] の [追加] を押し
ます。



■手順 8-2 (OPOS 設定プリンタ)
[コントロールオブジェクト] が表示された場合 [はい] を押し
ます。

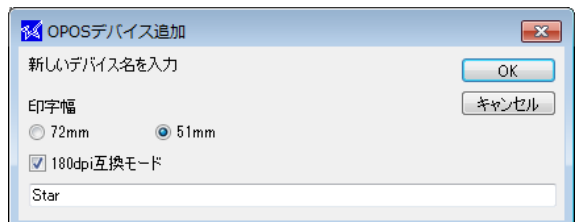
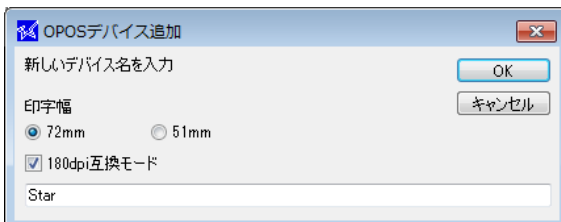


■手順 8-3 (OPOS 設定プリンタ)
[現在登録されている POS] が表示されます。[はい] を押し
ます。



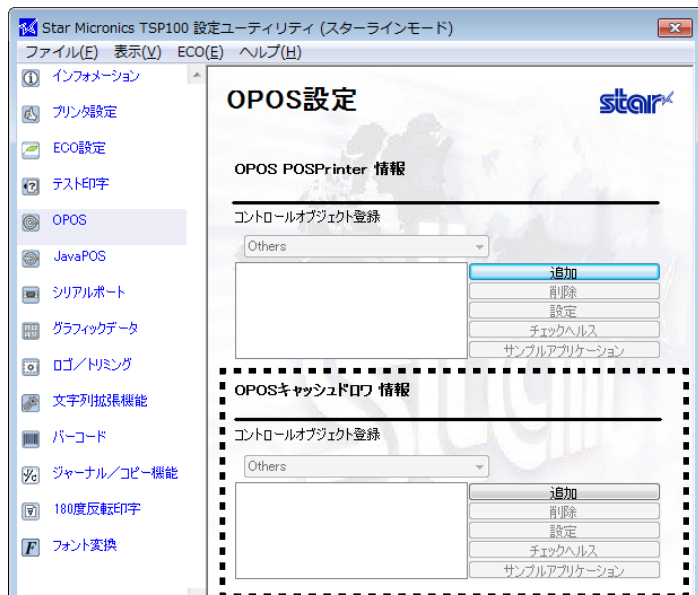
■手順 8-4 【レシートが 80 mm の場合】
[OPOS デバイス追加] が表示されます。
[印字幅] の [72mm] にチェックをいれます。
180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押し
ます。
※名前は必ず [Star] と入力してください。

■手順 8-4 【レシートが 58 mm の場合】
[OPOS デバイス追加] が表示されます。
[印字幅] の [51mm] にチェックをいれます。
180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押し
ます。
※名前は必ず [Star] と入力してください。



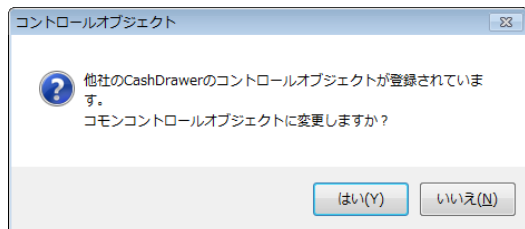
■手順 9-1 (OPOS 設定ドロウ)

OPOS 設定画面の [OPOS キャッシュドロウ] の [追加] を押します。



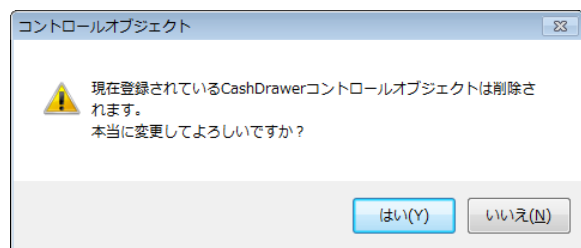
■手順 9-2 (OPOS 設定ドロウ)

[コントロールオブジェクト] が表示された場合 [はい] を押します。



■手順 9-3 (OPOS 設定ドロウ)

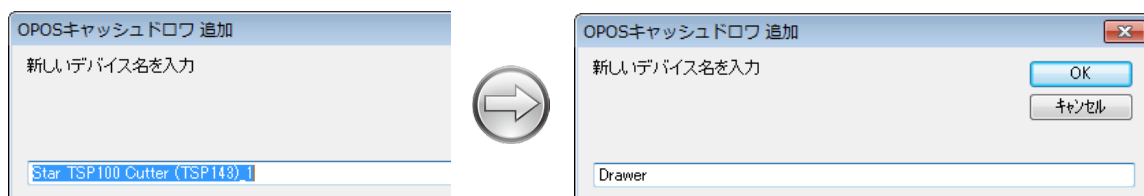
[現在登録されているCash・・・・] が表示されます。[はい] を押します。



■手順 9-4 (OPOS 設定ドロウ)

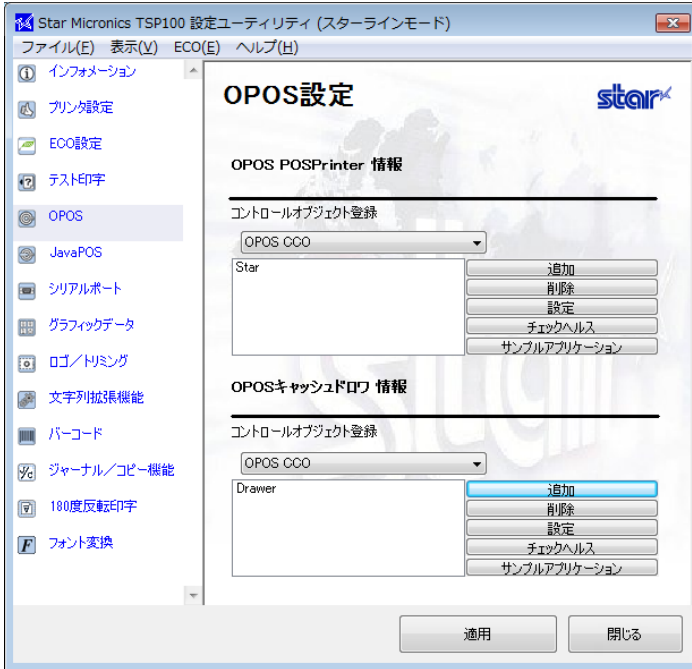
[OPOS キャッシュドロウ追加] が表示されます。新しいデバイス名を [Drawer] として [OK] を押します。

※名前は必ず [Drawer] と入力してください。



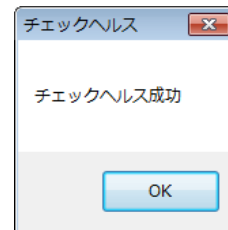
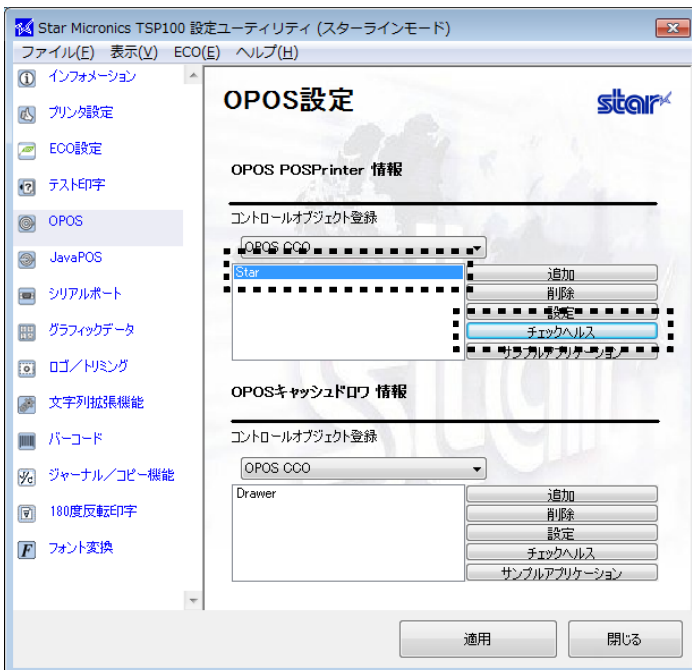
■手順 10

[OPOS 設定] 画面に戻りますので [適用] を押します。



■手順 11 (チェックヘルスの実行)

追加された [Star TSP・・・] を選択後、POS Printer の [チェックヘルス] を押してください。
 チェックヘルス画面に [チェックヘルス成功] と表示され、レシートプリンターから印字見本のレシートが出力され、
 キャッシュドロワが OPEN すれば設定は終了です。



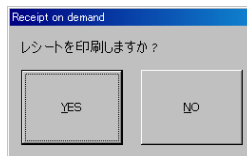
解説 (レシートの印字実行 / 中止を選択する機能)

オンデマンド機能

本機能により、印字の実行 / 中止を選択することで、不要な印字分の用紙を節約できます。

■ オンデマンド設定

オンデマンド機能を有効にする時、チェックボックスを選択します。オンデマンド有効後は、コンピュータからプリンタへデータが送られるたびに以下の確認画面が表示されます。



[YES] を押すと、印字が実行されます。

[NO] を押すと、印字はキャンセルされます。

通常、確認画面は印字を行う前に表示されますが、まれに、表示されない、または印字後に表示されてしまうなど、正しい動作をしない場合があります。その場合は、お手数ですが、コンピュータを再起動してください。

再起動後、オンデマンド機能を有効にして確認画面が正しいタイミングで表示されていることをご確認ください。

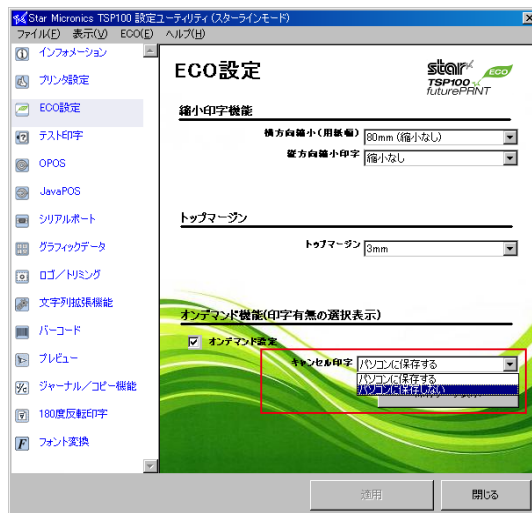
■ キャンセルデータの保存

オンデマンド有効時に印字をキャンセルした場合、そのデータの保存方法を選択できます。

「パソコンに保存しない」を選択した場合、キャンセルデータはそのまま消滅します。

「パソコンに保存する」を選択した場合、キャンセルデータは保存されます。

フォルダに保存されたデータは時間が経過しても自動的に削除されません。



※ BCPOS のジャーナル点検のレシート再発行より、印字キャンセルしたレシートの発行が可能です。



② カスタマディスプレイの設定 (TM-T88 編 /USB カスタマディスプレイ)

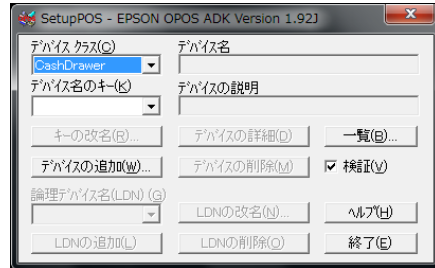
下記手順は、TM-T プリンターを使用しており、カスタマディスプレイが USB 接続の場合の設定になります。
 ※カスタマディスプレイが RS232C 接続の場合は P-33 へ進んでください。

2-1 USB カスタマディスプレイの接続・ポート確認 (TM-T88)

カスタマディスプレイのポート番号を確認します。

P-14 手順 12 で表示した右図 [SetupPOS] を画面を閉じないで、カスタマディスプレイをパソコンに接続します。

※接続する際は、なるべくパソコン背面の USB ポートに接続してください。(パソコン前面に差込んだ場合、ポートの番号が大きくなる場合がございます。)



TM-T88



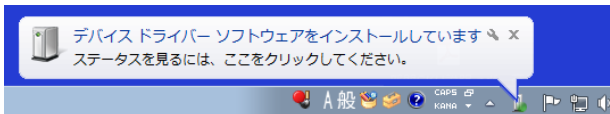
※パソコンの背面の USB
ポートに接続してください。
(USB)



※注意※ 上記画面を表示したままで、カスタマディスプレイをパソコンに接続してください。

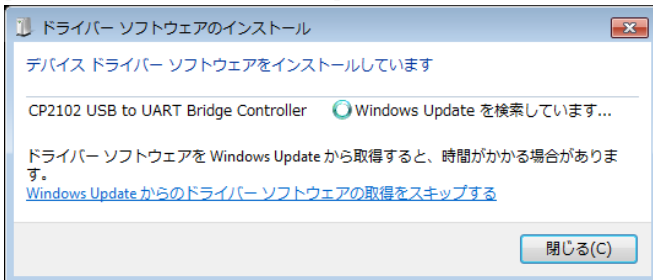
■ 手順 1

カスタマディスプレイをパソコンに接続すると、下図がパソコンの右下に表示されます。
 押してステータスを表示してください。



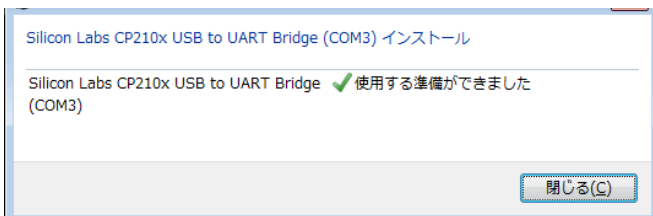
■ 手順 2

[ドライバソフトウェアのインストール] が開始されます。



■ 手順 3

[ドライバソフトウェアのインストール] に [Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●) インストール] と表示されます。下 (COM ●) の数字をメモ帳等にメモをお願いします。

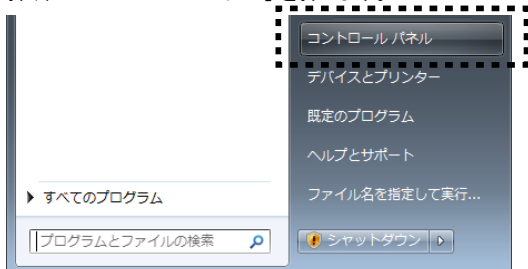


※ **トラブルシューティング (COM の番号がわからなくなった場合)**

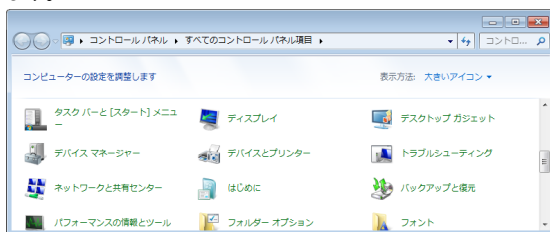
前項でポート確認で COM の番号がわからなくなった場合には、Windows のデバイスマネージャーから確認する事ができます。下記方法で、デバイスマネージャーから COM ポートの番号を確認してください。

■手順 1 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを押し)、**「コントロール パネル」**を押します。

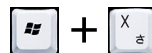


[コントロールパネル] 内の [デバイスマネージャー] を押します。

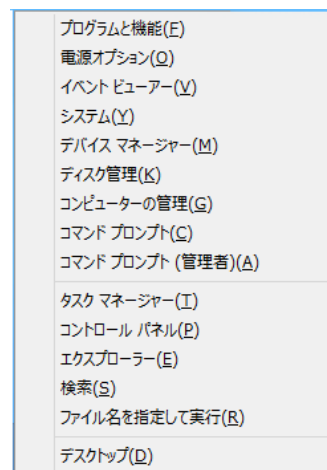


■手順 1 (Windows8 の場合)

スタートメニュー内のデスクトップ押ししてデスクトップを表示し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。下図が表示されます。



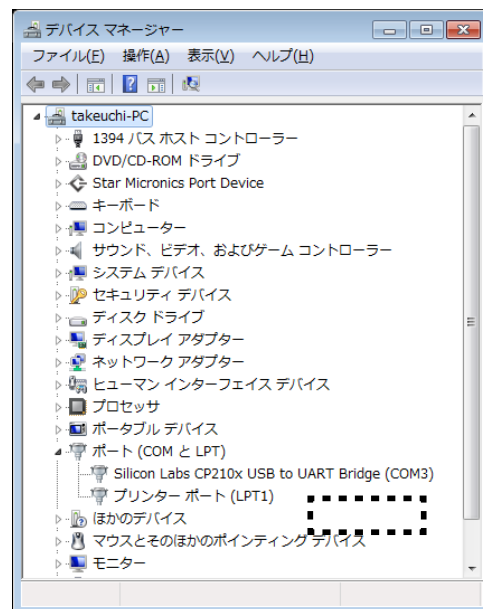
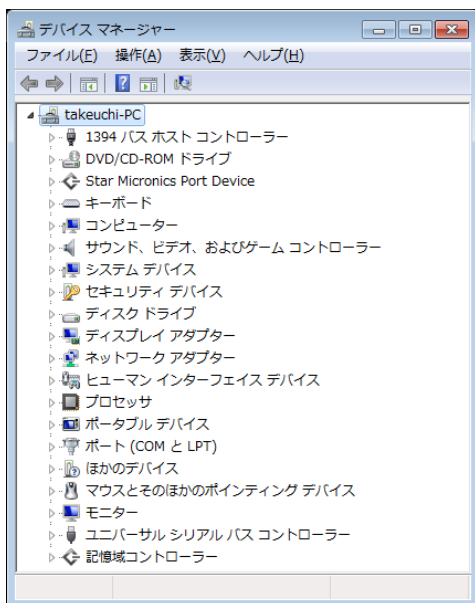
「デバイスマネージャー」を押します。



■手順 2

[デバイスマネージャー] が開きます。[ポート] を押して展開してください。

[Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●)] が、カスタマディスプレイの COM の番号になります。[COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。



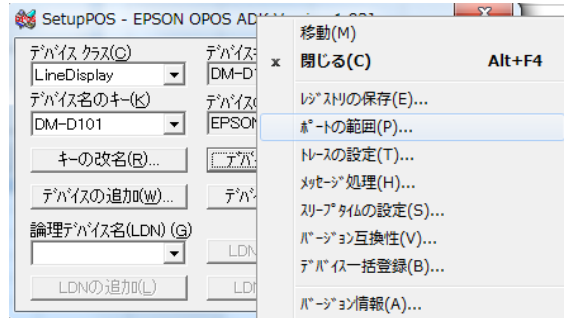
2-2 USB カスタマディスプレイの設定 (TM-T88)

USB カスタマディスプレイ設定を行います。

※ [SetupPOS] が閉じている場合には、P-33 のトラブルシューティングを参照してください。

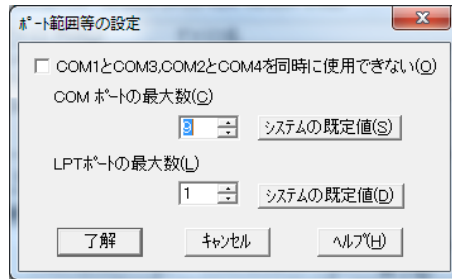
■手順 1

[SetupPOS] 画面の上部 [SetupPOS-EPSON OPOS ~] の上段枠辺りで右押ししてメニューを出し [ポートの範囲] を押します。



■手順 2

[COMポートの最大数] に [9] を設定して [了解] を押します。



■手順 3

[デバイスクラス] に [LineDisplay] を設定して [デバイスの追加] を押します。



■手順 4

[追加するデバイスを~] に [DM-D101] を設定して [追加] を押します。



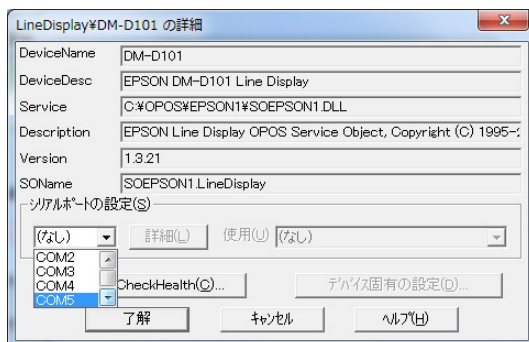
■手順 5

[デバイスの詳細] を押します。



■手順 6

[シリアルポートの設定]を[【3-2】カスタマディスプレイの接続・ポート確認] ■手順 4[デバイスマネージャー]で表示された COM 番号に合わせて[了解]を押して SetupPOS を終了します。



プリンタ・ドロワ設定 P-35 へ ▶

※ USB 抜き差し等によりカスタマディスプレイが使用出来なくなった場合は 3-2] カスタマディスプレイの接続・ポート確認の COM 番号の確認からやり直して下さい。

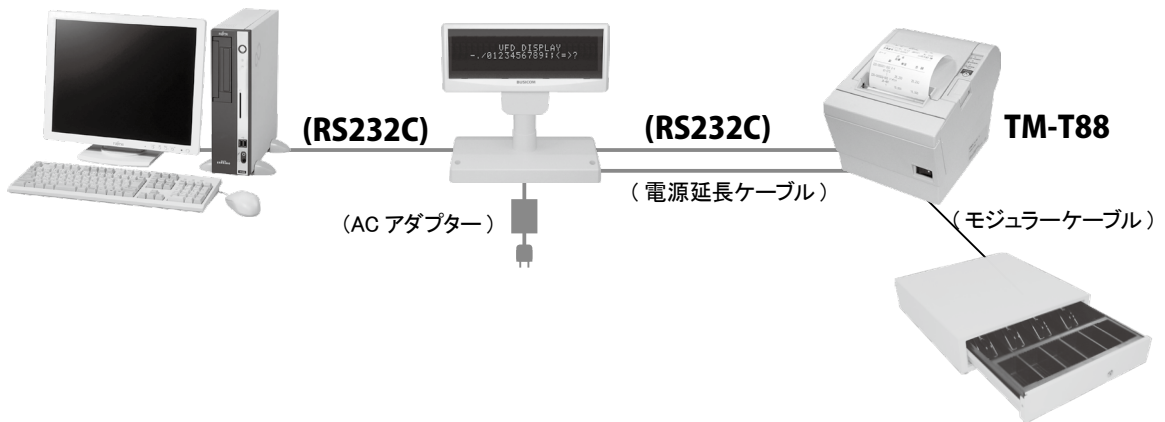
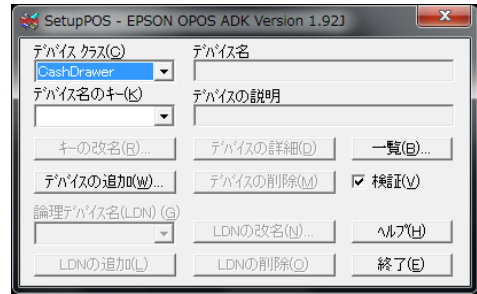


② 周辺機器の設定 TM-T88 編 (RS232C カスタマディスプレイ)

2-1 周辺機器の接続 (TM-T88)

周辺機器を下図のように接続します。

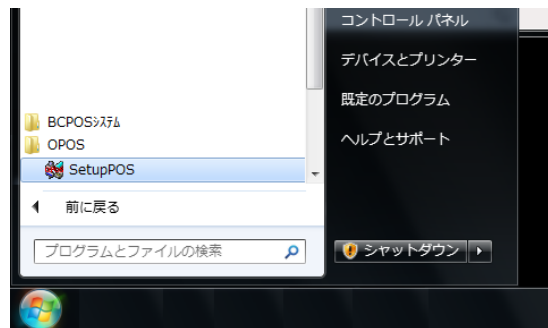
P-14 手順 12 で表示した右図 [SetupPOS] を画面を閉じないで、周辺機器をパソコンに接続します。



※ トラブルシューティング (SetupPOS の表示方法)

※ BCPOS のインストールした後、自動的に OPOS の設定画面になりますが、インストール後に設定し直したい場合、又は自動的に OPOS 画面にならなかった場合は Windows スタートボタンから [SetupPOS] を起動してください。

Windows 画面左下の [スタート] を押し、[プログラム] → [OPOS] → [SetupPOS] を選択し実行し、前項の手順1から、順番に設定を行ってください。



2-2 RS232C カスタマディスプレイの設定 (TM-T88)

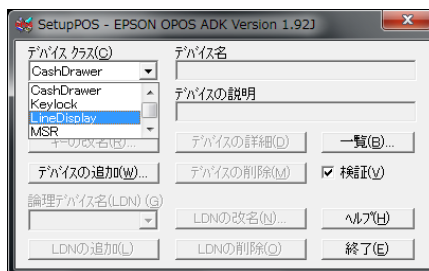
RS232C カスタマディスプレイ設定を行います。

※ [SetupPOS] が閉じている場合には、前項のトラブルシューティングを参照してください。

■手順 1

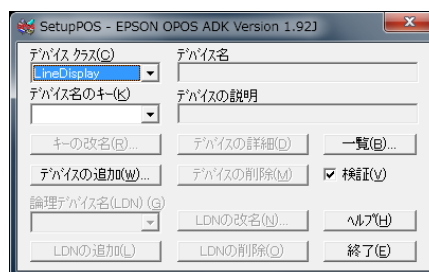
[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] が表示されます。

左上の [デバイスクラス] のプルダウンメニュー▼を押し、[Line Display] を選択します。



■手順 2

画面中程の [デバイスの追加] を押します。



■手順 3

[デバイスの追加] が表示されます。[追加するデバイスを選択] のプルダウンメニュー▼を押し、[DM-D101] を選択して [追加] を押します。



■手順 4

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] 画面に戻ります。



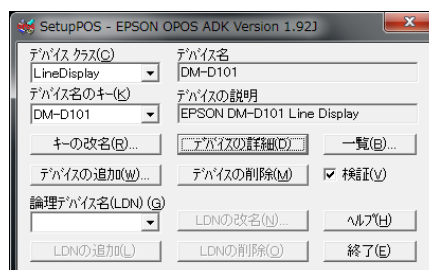
■手順 5

[デバイス名 : DM-D101]

[デバイスの説明 : EPSON DM-D101 LineDisplay]

を確認してください。

画面を終了しないで、次項へお進みください。レシートプリンターの設定を行います。



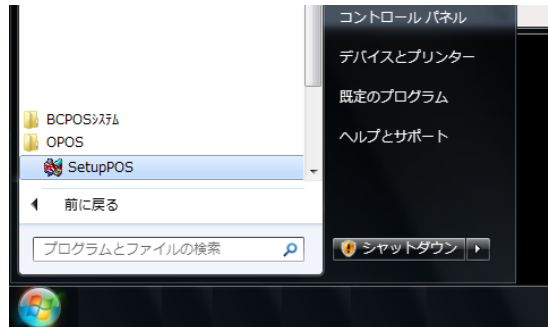


③ レシートプリンタ・ドロワの設定 (TM-T88 編 - 共通)

3-1 レシートプリンタの設定 (TM-T88 共通)

■手順 1

Windows 画面左下 [スタート] を押し、[プログラム] → [OPOS] → [SetupPOS] を選択し、実行します。



■手順 2

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] が表示されます。左上の [デバイスクラス] のプルダウンメニュー▼を押し、[POS Printer] を選択します。



■手順 3

画面中程の [デバイスの追加] を押します。

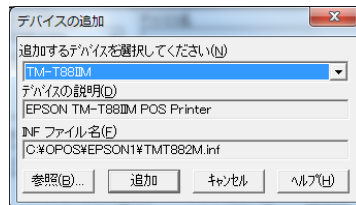


■手順 4

[デバイスの追加] が表示されます。[追加するデバイスを選択] のプルダウンメニュー▼から [TM-T88IIM] を選択して [追加] を押します。

(お使いのプリンタ機種を選択してください。)

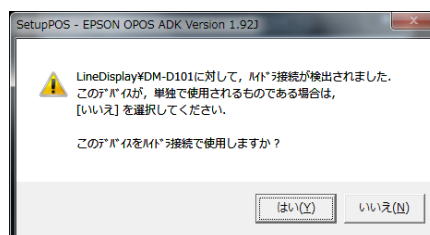
※ TM-T88 III M、TM-T88 IV の場合も TM-T88IIM を選択してください。



■手順 5

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] に [! ハイドラ接続が検出されました] が表示されたら、[はい] を押します。

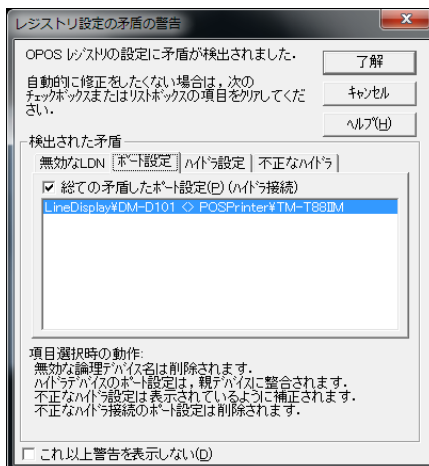
(この画面が表示されなければ、手順 7 へ進みます)



■手順 6

[レジストリ設定の矛盾の警告]が表示されたら[了解]を押します。

(この画面が表示されなければ、手順 7 へ進みます)



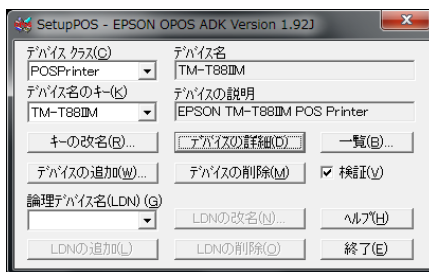
■手順 7

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J]が表示されます。

[デバイス名 : TM-T88IIM]

[デバイスの説明 : EPSON TM-T88IIM POSPrinter]

を確認してください。画面を終了しないで、次項へお進みください。キャッシュドロワの設定を行います。



● ハイドラ接続とは

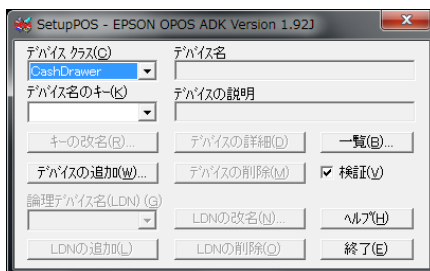
パソコンに接続した機器に、更にチェーン接続する事を言います。

3-2 キャッシュドロワの設定 (TM-T88 共通)

キャッシュドロワ設定は必ず設定する必要はありませんので割愛されても結構です。

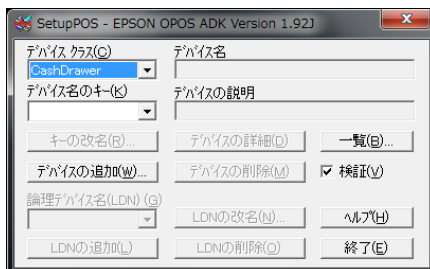
■手順 1

左上の[デバイスクラス]のプルダウンメニュー▼から[Cash Drawer]を選択します。



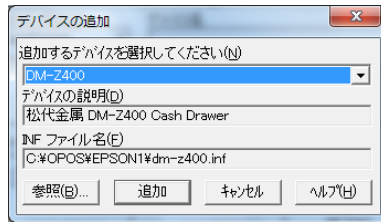
■手順 2

画面中程[デバイスの追加]を押します。



■手順 3

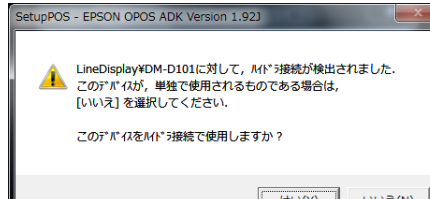
[デバイスの追加] が表示されたら [追加するデバイスを選択] のプルダウンメニュー▼から [DM-Z400] を選択して [追加] を押します。



■手順 4

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] に [! ハイドラ接続が検出されました] が表示されたら [はい] を押します。

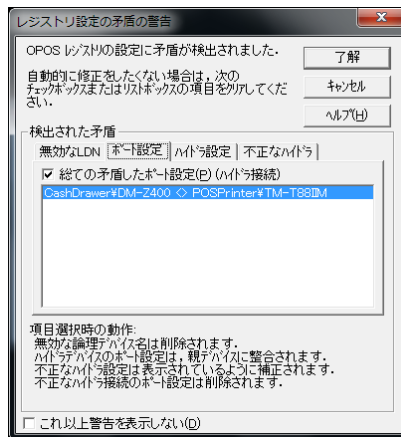
(この画面が表示されなければ、手順 6 へ進みます)



■手順 5

[レジストリ設定の矛盾の警告] が表示されたら [了解] を押します。

(この画面が表示されなければ、手順 6 へ進みます)



■手順 6

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] が表示され、デバイス名 : DM-Z400
デバイスの説明 : 松代金属 DM-Z400 CashDrawer を確認したら [終了] を押します。





※ トラブルシューティング (レジ画面に周辺機器の○○○エラーと表示される)

【USB ポートを変更した場合】

最初に設定した時の USB ポートから他の USB ポートに差換えてしまった場合、その時点で新たにハードウェアの追加が実行されてしまいます。プリンタの一覧に「～コピー1」が追加されるため、そのままでは使用できなくなります。

【対処方法】

- ①元の USB ポートに接続し直す場合
- ②設定時とは別な USB ポートで使用する場合

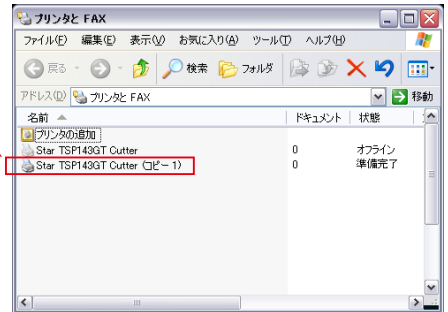
【各設定方法】

①元の USB ポートに接続し直す場合

「プリンタと FAX」を開き、追加された「～(コピー1)」を削除します。削除ができたなら、元の USB ポートへ接続し直します。「プリンタと FAX」を開き「～(コピー1)」ができていなければそのまま使用可能です。

②設定時とは別な USB ポートで使用する場合

「プリンタと FAX」を開き、元のドライバと追加された「～(コピー1)」を両方とも削除します。削除ができたなら、「EPSON Set up POS」を開き、プリンタ及びドローワのデバイスを削除します。再度、プリンタの電源を OFF → ON するか、USB を抜き差しします。ハードウェアの追加が実行されて「プリンタと FAX」を開くとプリンタが追加されます。「TSP100 設定ユーティリティ」の画面を開きます。P.7 から設定してあった情報が初期化されているので、再度通常どおりの設定を行って下さい。



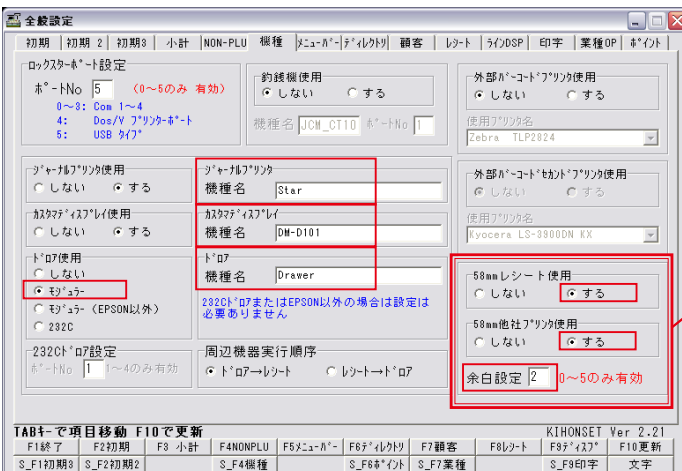
解説 (レシート幅 [80mm or 58mm] の違いによる BCPOS 機種設定について)

下記設定は、後述 [基本設定] でも説明しております。

デフォルトの設定は 80mm のレシート設定になっていますので、58mm 設定を行った場合は下記を参照して設定してください。

デスクトップの BCPOS ショートカット「開始メニュー」-「基本設定」-「全般設定」-「機種」タブを開きます。「ジャーナルプリンタ」の機種名欄に「Star」を入力し、「カスタムディスプレイ」の機種名欄に「DM-101」を入力します。同様にドローワ使用を「モジュラー」に設定し、機種名は「Drawer」と正しく入力して「F10 更新」を押します。

※ 「デバイス名」正確に設定しないと、レジ画面の起動時にエラーになります。



58mm 幅のレシートを使用する場合は図のように設定します。



■ ロックスターの設定 ■

お客様毎に異なる様々なご契約内容をロックスターとパスワードで管理させていただいております。ご利用期限やご契約いただいたオプション機能の ON/OFF の制御をする為の鍵がロックスターであり、パスワードと連携してお客様の認識を行っております。

※ロックスターとパスワードについて※

ロックスターをコンピュータが認識した上でないとパスワードが無効となる仕組みになっています。万が一故障した場合、新しいロックスターをお渡しいたします。再度、パスワードの設定を行うことにより今までどおり使用できます。尚、故障したロックスターは弊社までご返却をお願いします。

3-1 ロックスターのインストール

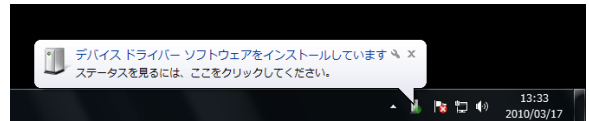


WindowsXP・WindowsVista・Windows7 ではロックスターを USB ポートに挿入すると自動的に認識します。

※ USB ロックスターを接続する際は、パソコン側の USB 差込口を良く見てから挿してください。無理に挿そうとすると故障、破損の原因となります。(注：破損の場合は有償交換になります。)

■手順 1

ロックスターを USB ポートに差し込んでください。自動的にハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。



■手順 2

ドライバのインストール終了後、完了画面が表示されます。以上でロックスターのインストール作業は終了です。



※※※ ドライバがインストールされたのが確認方法は以下の通りです。 ※※※

■手順 1

[Ctrl] を押しながら [マイコンピュータ] を押し (右クリック)、[プロパティ] を押します。



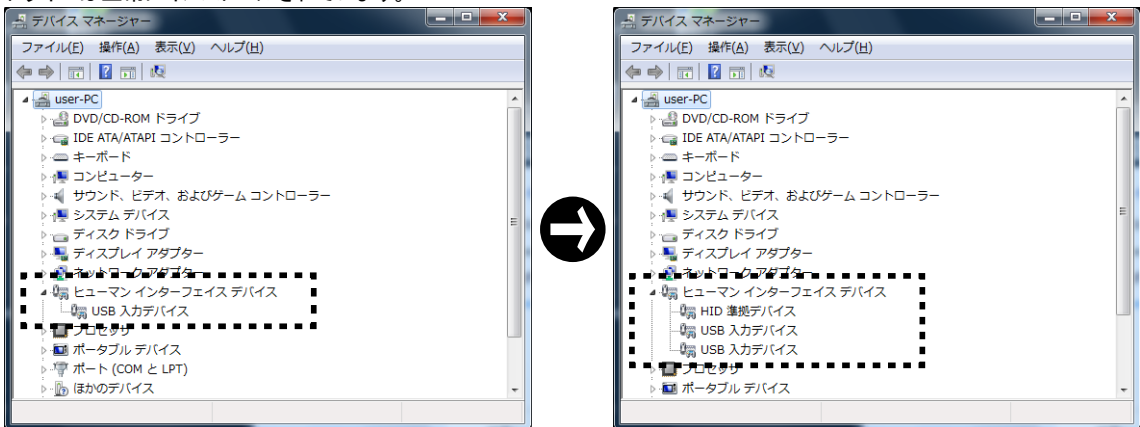
■手順 2

[システムのプロパティ] 画面の [ハードウェア] を押し、画面左にある [デバイスマネージャ] を押します。(XP の場合は画面中央にあるデバイスマネージャボタンを押します。)



■手順 3

[USB ヒューマン インターフェイス デバイス] が増えれば
ドライバは正常にインストールされています。



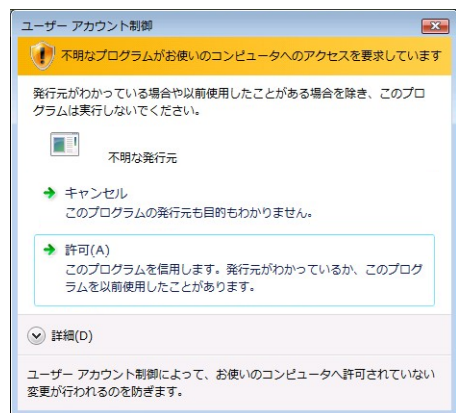
※ トラブルシューティング (レジ画面がトレーニングモードになる)

レジ画面がトレーニングモードになる場合には、下記の事項が該当します。

- ①ロックスターが抜けている。
ロックスターを一旦抜いて、再度差込んでください。
- ②ロックスターが認識されない。
ロックスターを一旦抜いて、別の USB ポートに接続してください。
- ③期限パスワードが切れている。
次項 [期限パスワードの更新] を実行してください。
- ④下記手順を実行してください。

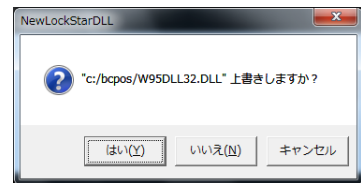
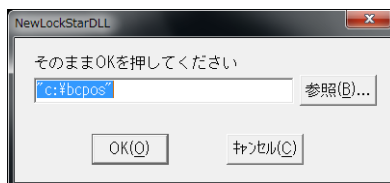
■手順 1

[マイコンピュータ]-[ローカルディスク (C)]-[BCPOS]-[TOOL]-[USB
LockStar]-[NewLockStarDLL-2.EXE] を 2 回押します。
[認識出来ないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求して
います] が表示されたら [許可] を押します。



■手順 2

[OK] ボタンを押します。
その際上書の確認が表示された場合は [はい] を押してください。



※上記手順①・②・③・④を実行して改善されない場合は、巻末のサポートデスクへご連絡ください。

■ロックスター番号が 4000 ～ 7499 までの設定手順

ロックスターが右図のタイプの場合以下の手順で設定を行います。



※プリンタポート (LPT) タイプのロックスターは XP/Vista では使用できません。詳しくは弊社までご連絡ください。

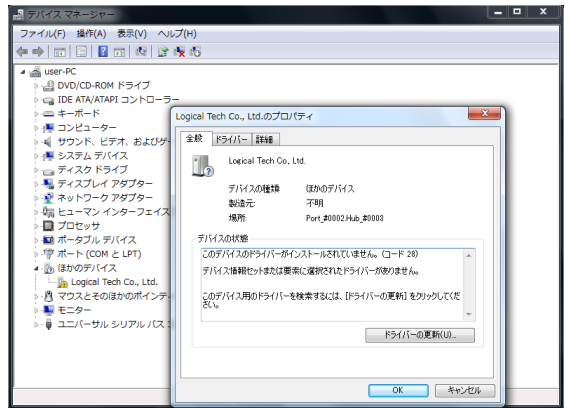
■手順 1

ロックスターを USB ポートに差し込んでください。

※ Windows7 の場合はロックスターを USB ポートに差し込むと自動でインストールを行います。画面右下に「正しくインストールされませんでした」と表示されます。

P.25 ～ 26 ■手順 1・2 を参照しデバイスマネジャーを開いてください。

デバイスマネジャーより [Logical Tech Co. Ltd.] を 2 回押すとプロパティ画面が開くので、[ドライバーの更新] ボタンを押し次項 P.28 ■手順 5 へ進んでください。

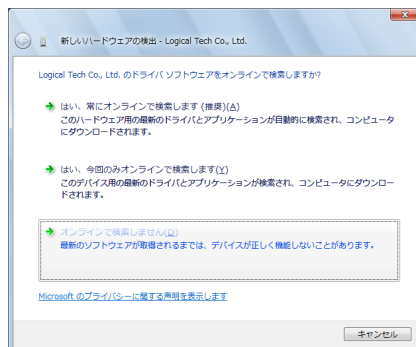
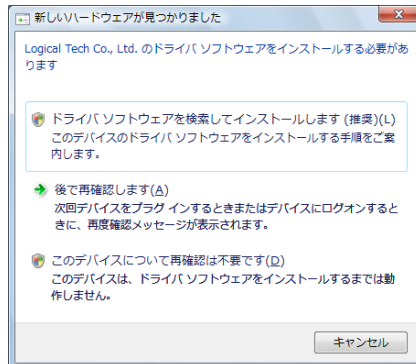


Windows7 以外の OS は自動的にハードウェアの認識の画面が表示されます。「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」を押します。

[続行するにはあなたの許可が必要です] が表示された場合 [続行] を押します。

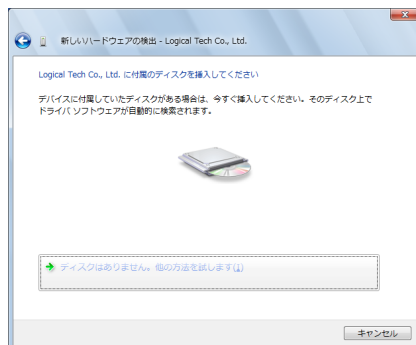
■手順 2

[Logical Tech co,Ltd のドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか ?] が表示されたら [オンラインで検索しません] を押します。



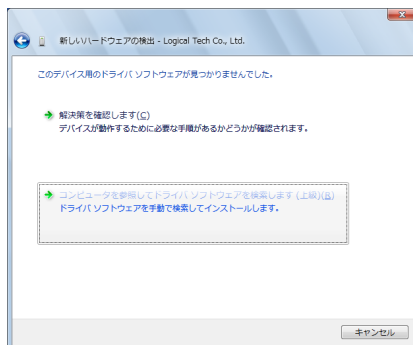
■手順 3

[Logical Tech co,Ltd に付属のディスクを挿入してください] が表示されたら [ディスクはありません。他の方法を試します] を押します。



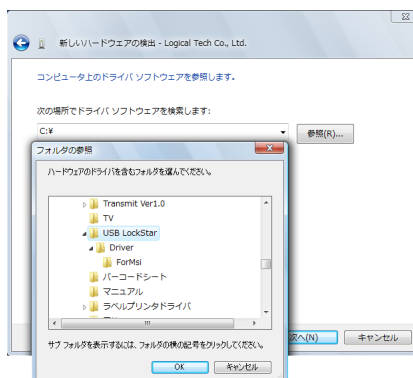
■手順 4

[このデバイス用のドライバソフトウェアが見つかりませんでした]が表示されたら[コンピューターを参照してドライバソフトウェアを検索します]を押します。



■手順 5

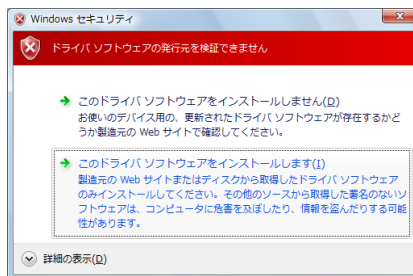
[コンピューター上のドライバソフトウェアを参照します]が表示されたら[参照]を押します。フォルダの参照画面で[マイコンピューター]-[ローカルディスク(C:)]-[BCPOS]-[TOOL]-[Stra]を選択して[OK]を押します。



参照先が[C:\BCPOS\tool\USB LockStar]に変更されている事を確認して[次へ]を押します。

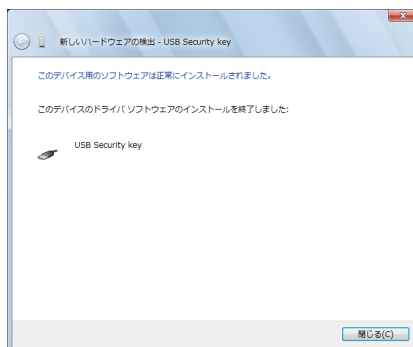
■手順 6

[ドライバソフトの発行元を検証できません]が表示されたら[このドライバソフトウェアをインストールします]を押します。



■手順 7

[このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました]が表示されたら[完了]を押します。





■ 期限パスワードの更新 ■

期限パスワードとは POS システムの有効期限を設定するためのパスワードです。

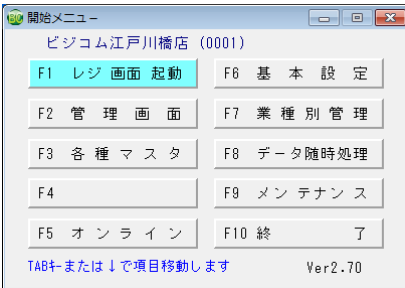
レントウェアでご利用の場合、半年または1年毎にパスワードを入力して、利用可能期限を更新する必要があります。(各種オプションに変更があった場合はその都度になります)

通常、レントウェアのご契約を更新する場合、期限が切れる前に新しいパスワードを郵送でお送りします。(買取でご利用の場合はこの限りではございません)

期限パスワードを更新することにより、利用期間の延長やオプションの変更を行います。

■手順 1

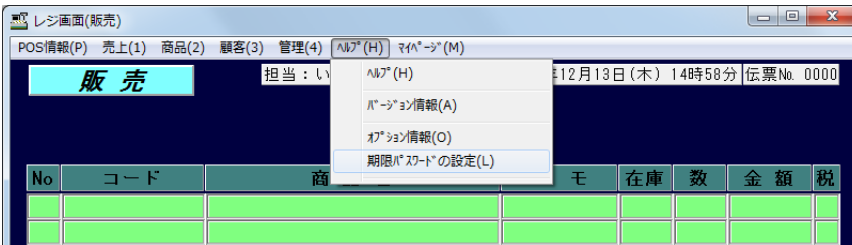
[開始メニュー]より[レジ画面起動]を押します。



■手順 2

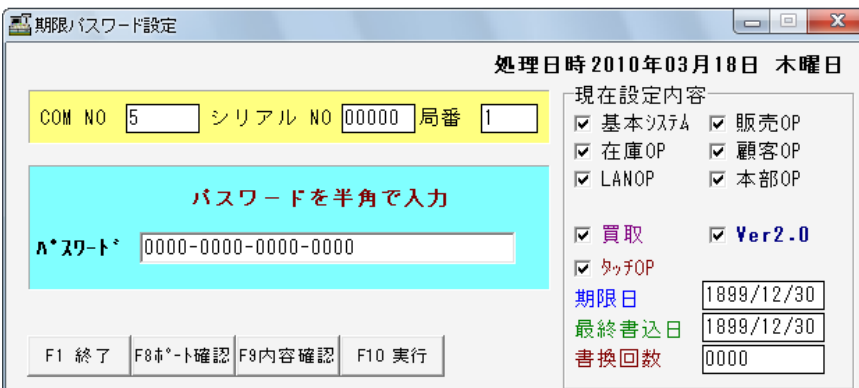
[レジ画面] 上部メニューバー [ヘルプ(H)] を押します。

展開されたメニュー内の [期限パスワードの設定(L)] を押してください。



■手順 3

[期限パスワード設定]画面の中央[パスワード]入力欄に、弊社より郵送された「期限パスワード」を入力して[F10実行]を押してください。



※ **ご注意** ※ 期限パスワードはロックスター（ソフトの鍵）が接続されていないと設定できません。
また、期限パスワードは1日に10回しか入力実行できませんのでご注意ください。

**BCPOS 動作環境**

BCPOS の動作環境は以下のとおりです。

最低	推奨		最低	推奨
WindowsXP (32Bit)		OS	WindowsVista , Windows7 (32Bit)	
Celeron 1GHz 以上	Celeron 2GHz 以上	CPU	Celeron 2GHz 以上	Core2Duo 2GHz 以上
512M 以上	1GB 以上	メモリー	1GB 以上	2GB 以上
1GB 以上	5GB 以上	ハードディスク空き容量	15GB 以上	30GB 以上
800 × 600px 以上		ディスプレイ	800 × 600px 以上	
ビジコム : BCN-1000U (USB または PS/2 タイプ使用)		バーコードリーダー	ビジコム : BCN-1000U (USB または PS/2 タイプ使用)	
ビジコム : BC-VF3100U (EPSON : DM-D110、210 シリーズ準拠品)		対応カスタマディスプレイ	ビジコム : BC-VF3100U (EPSON : DM-D110、210 シリーズ準拠品)	
ビジコム : BC-DW1100 (6 ピンモジュラータイプ、RS-232C タイプ)		対応キャッシュドロワ	ビジコム : BC-DW1100 (6 ピンモジュラータイプ、RS-232C タイプ)	
スター精密 : TSP100 シリーズ (注1) EPSON : TM-T 88 ~V シリーズ (注2)		対応レシートプリンター	スター精密 : TSP100 シリーズ (注1) EPSON : TM-T 88 ~V シリーズ (注2)	

※各 64Bit 版、Windows7 starter は非対応です。

注 1 : スター精密 : TSP100 シリーズの LAN タイプは未対応です。

注 2 : EPSON : TM-T 88 ~V シリーズの USB・LAN タイプは未対応です。

※外部機器を接続する場合、シリアルポートのあるものを推奨します。

無い場合には別途 USB シリアル変換コードが必要になりますのでお問い合わせ下さい。

ご注意

○本書及びこのプログラムは著作権上、無断で使用・複製することはできません。

○本製品の内容について万が一不備な内容がございましたら下記までご連絡ください。

○本書及びこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがございます。

BCPOS は株式会社ビジコムの登録商標です。

Windows7,WindowsVista,WindowsXP は米国マイクロソフト社の登録商標です。

その他、記載された製品名は各社の商標または登録商標です。

BCPOS ユーザーズガイド

初版 2004 年 3 月 第三版 2013 年 1 月

落丁・乱丁はお取替えいたします。

発行 株式会社ビジコム

Web : <http://www.busicom.co.jp/>

E-Mail : info@busicom.co.jp